

市報

うんなん

12

2016
No.145



はやみ ゆういち
速水雄一市長初登庁 (11月15日)

- 2ページ チャレンジが連鎖する2days
- 8ページ わが家のHOPE
- 12ページ うんなん日和
- 16ページ 雲南病院だより
- 22ページ 市役所からのお知らせ ほか
- 36ページ イベント情報 ほか



UNNANアートスタート第4弾
“栗コーダーカルテット&ビューティフルハミングバードコンサート”
(11月6日開催)

子ども×若者×大人 チャレンジが連鎖する2days

チャレンジの連鎖に向けて子ども、

10/16 (日)
子ども
チャレンジ

雲南市教育フェスタ2016

雲南市教育フェスタ2016を加茂文化ホール ラメールを主会場に、「ともに未来を考える 地域でつながる私たちにできること」をテーマとして島根大学と共同で開催しました。

市内外から約650人が参加し、市内の高校生等による地域活動体験発表や保護者・教育関係者等によるグループワーク(熟議)などを行いました。高校生が自ら考え、活動する姿に、「まちが元気になる」といった感想が参加者から寄せられました。また、連携・協働して雲南市の子どもたちを育てることをめざし、参加者からさまざまな意見が発表されました。



①ワークショップで出た意見を発表する参加者②発表する大東高校生

若者、大人が取り組み発表や意見交換

10/15 (土)
大人
チャレンジ

地域自主組織取組発表会

地域自主組織取組発表会を加茂文化ホール ラメールで開催しました。遠くは北海道からの参加者や高校生や大学生などを含む200人を超える方が参加しました。

今回は「子ども×若者×大人チャレンジが連鎖する2Days」の開催とあわせて、地域自主組織の取り組みだけではなく、市内の高校生や専門学生、幸雲南塾の塾生による取り組みについても発表を行い、参加者はそれぞれの取り組みに対して、助言や質問を行いました。

講師のI・I・H・O・E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表 川北秀人さんから「地域は、若者に『来てもらう』だけでなく、『担い手を育てる機会』と

して生かす工夫・しかけが必要である」とアドバイスをいただきました。

今後の取組発表会は、平成29年2月12日(日)を予定しています。



①地域自主組織の取組発表会会場の様子②取組発表に対しアドバイスする川北さん

10/16 (日)
若者
チャレンジ

幸雲南塾2016中間発表会

社会起業家や地域貢献を志す若い人材の発掘と育成を目的とした幸雲南塾2016の中間発表会を開催しました。加茂健康福祉センターかもてらすを会場に3組の塾生が半年間の成果と来年2月までの後半の取り組み方針を発表しました。

地域自主組織、金融機関、大学生など約60人が参加しました。

来場者の投票の結果、雲南市立病院の医師である太田龍一さんを中心とした在宅医療チームのプランが、「グッドプレゼン賞」に選ばれました。

同時に、地域づくりのはじめの一歩を踏み出す場としての月例勉強会「ラボアカデミー」の修了式も行われ、ラボアカデミー生が半年間、地域で実践したフィールドワークの調査結果について発表しました。



グッドプレゼン賞に選ばれた在宅医療チームの太田さん

【幸雲南塾生発表者】

塾生	プラン名	賞
ジョイント Joynt (松崎大樹さん、勝部 慧さん)	理想の保育園をめざして	
在宅医療チーム (太田龍一さん、笠 芳紀さん、勝部 琢治さん)	今話そう！人生の最期について一病院からのチャレンジ	グッドプレゼン賞
福山順子さん	縁結びパンツの挑戦～雲南市から始まる笑顔のリレー～	

※3組6人の塾生が受講

【ラボアカデミー生発表者】

ラボアカデミー生	フィールドワーク対象地区
小林雅和さん、武田遠太さん	阿 用
川 功行さん	久 野
高尾 彰さん、木村 誠さん、中村裕美子さん	入 間

※3組14人のラボアカデミー生が受講

10/15 (土)
交流会

「子ども×若者×大人」大交流会

「チャレンジが連鎖する2days」初日の締めくくりとして、「子ども×若者×大人」大交流会を加茂健康福祉センターかもてらすで開催し、地域自主組織、市内の高校生、大学生や全国から集まった雲南ゼミの参加者など総勢60人を超える方が参加しました。

交流会では、子どもチャレンジから大東高校生と三刀屋高校生、若者チャレンジから3組の幸雲南塾OB・OGがそれぞれブースを構えて、大人チャレンジである地域自主組織からの参加者等と交流や意見

交換を行いました。

今後も子どもから大人まで一緒になってまちづくりを実践していく場づくりを開催していきます。



大東高校生によるプラン発表

【子どもチャレンジ】

高校名	生徒	プラン名
三刀屋高校	富田乃彩さん(1年) 安西沙弥さん(1年)	不登校問題に対して私たちができること…
	白築榮耶さん(1年)	閉校後の校舎活用を通じて地域に笑顔を…
大東高校	須山夏希さん(3年)	桜まつり・若者会議を通じた地域の魅力発見
	石原春乃さん(2年)	悩みを抱える高校生の交流の場づくり

【若者チャレンジ】

幸雲南塾OB/OG	プランの概要等
陶山清男さん	地域、地元酒造と連携。「コシヒカリから造る日本酒プロジェクト」を展開!
Community Care 歌田ちひろさん 岡本菜由さん 百合澤順子さん	20代の1ターン女性3人で設立した訪問看護ステーション。現在では7人にまで雇用を拡大!
小山 望さん	2度の幸雲南塾受講を経て、マイプランの実現に至る。現在、出雲大東駅の一画にてカフェを経営!

雲南の古代を 探る 銅鐸・古墳・風土記

加茂岩倉遺跡銅鐸出土20周年記念シンポジウム

平成8年10月14日に加茂町岩倉の農道工事現場より大量の銅鐸が出土してから今年で20年を迎えたことを記念して10月1日(土)に加茂文化ホールラメールでシンポジウムを開催し、市内外より約130人が参加しました。



ラメールミュージカルスクールの子どもの合唱

シンポジウムは、ラメールミュージカルスクールの子どもの素晴らしい歌声で幕を開けました。ラメールミュージカルスクールでは、銅鐸が出土した感動を心にとどめ、忘れないために平成9年10月に初演されたミュージカル『交響詩 古代』を再構成し、銅鐸出土20周年を記念して来年3月に再演予定です。こちらにもご期待ください。

続いて、銅鐸出土以来、加茂岩倉遺跡の保護・活用に関して多年にわたり貢献いただいた「遊学ボランティアの会」(会長 菊地敏雄さん)、「出雲國・加茂2000年プロジェクト」(会長 舟木清さん)、岩倉自治会(会長 小林恵一さん)に速水市長より感謝状が贈呈されました。そして、加茂岩倉遺跡の銅鐸について発見当初から調査・研究に従事され、わが国の銅鐸研究の第一人者として活躍中の奈良文化財研究所

客員研究員 難波洋三さんに「発見から20年今、加茂岩倉銅鐸が語ること」と題した基調講演をしていただきました。難波さんからは、加茂岩倉銅鐸以降に発見された長野県中野市の柳沢遺跡出土銅鐸や、昨年4月に7個の銅鐸が出土したことで話題となった兵庫県南あわじ市の松帆銅鐸を取りあげて、加茂岩倉遺跡や荒神谷遺跡(出雲市斐川町)から出土した銅鐸を含む弥生時代の青銅器について最新の研究成果を発表いただきました。なかでも、近年の化学分析の結果から、銅鐸に使用された金属原料が朝鮮半島産から中国産に変わったことや、中国の歴史書『史記』(著者 司馬遷)の記載内容の検討から、加茂岩倉遺跡や荒神谷遺跡から出土した多量の青銅器は、出雲西部を中心とする地域が生み出す富をもつてすれば十分に入手可能な量であったと説明されたことには、会場からも驚きの声が上がっていました。



難波さんの基調講演



感謝状贈呈

うテーマで、基調講演をしていた難波さんに加え、鳥根県立八雲立つ風土記の丘 所長 松本岩雄さん、鳥根県古代文化センター 専門研究員 平石 充さんをパネリストに迎え、雲南市文化財保護審議会 副会長 田中義昭さんの司会でパネルディスカッションが進められました。加茂岩倉遺跡の銅鐸が埋められた弥生時代から、神原神社古墳(加茂町)や松本古墳群(三刀屋町)が造られた古墳時代、そして『出雲国風土記』が編さんされた飛鳥・奈良時代までを対象として、雲南地域の地的特色について熱い議論が交わされました。パネリスト・コーディネーターの皆さんからは、「雲南地域の歴史的特性を明らかにするため



パネルディスカッションの様子

に、今後も継続的に調査・研究を進めていくこと」の重要性が指摘されました。加茂岩倉遺跡から全国最多の39個の銅鐸が出土して20年が経過しましたが、約2000年前の弥生時代の社会を考える上で、加茂岩倉銅鐸が持つ重要性はまったく色あせておらず、郷土の誇るべき文化財を改めて認識する貴重な機会となりました。



文化庁文化財部長 藤江洋子さんのあいさつ

加茂岩倉遺跡および荒神谷遺跡から出土した銅鐸の中に、兵庫県南あわじ市の松帆銅鐸と同じ鑄型から作られた同範(兄弟)銅鐸が存在することが10月末に明らかになりました。同範銅鐸は同じ場所で作されたと考えられていることから、出雲と淡路が共通の製作地から銅鐸を入手していたことになり、弥生時代の広域ネットワークにおいて、出雲と

淡路が結ばれていたことが想定されるなど、重要な情報が得られました。今後、弥生時代の青銅器文化や社会を明らかにしていく上で、加茂岩倉銅鐸がますます注目されていくことが期待されます。



加茂岩倉遺跡出土時の記者会見

これまでのあゆみ

加茂岩倉遺跡で銅鐸が出土してから今日までの流れを紹介します。

銅鐸出土

- 1996(平成8)年10月14日 農道の工事中に銅鐸が出土
- 1996(平成8)年10月28日 加茂岩倉遺跡出土銅鐸調査開始
- 1996(平成8)年11月1日 第1次発掘調査開始
- 1997(平成9)年5月14日 第2次発掘調査開始

国の史跡に指定

- 1999(平成11)年1月14日 加茂岩倉遺跡が国の史跡として指定

重要文化財に指定

- 1999(平成11)年6月7日 出土銅鐸が重要文化財に指定
- 2002(平成14)年3月29日 加茂岩倉遺跡発掘調査報告書刊行

国宝に指定

- 2008(平成20)年7月20日 銅鐸が国宝に指定

これまでの百年、これからの百年
祝 木次線開業百周年
 シリーズ③

**木次線開業100周年
 記念セレモニー**

10月8日(土)、木次線開業100周年記念セレモニーをJR木次駅・駅前広場で行い、沿線住民や鉄道関係者ら約200人が参加し、木次線開業100周年を祝いました。

木次線開業100周年記念事業実行委員会 勝田康則委員長(奥出雲町長)は「木次線は、通学や通勤などで沿線住民にとってなくてはならない公共交通機関。ローカル線を取り巻く状況は非常に厳しくなっているが、このレールを守り、存続してい



セレモニーでのくす玉割の様子

くことが我々の使命である」と、また溝口善兵衛 島根県知事は「沿線住民の普段からの列車の利用や、観光利用の拡大に取り組むなど木次線の利用促進を図っていくことが大切。鳥根県としては、地元市町の利用促進の取り組みを一層支援していきたい」とあいさつされました。

セレモニーで出席者らがくす玉を割って100周年を祝福した後、駅のホームではトロッコ列車「奥出雲おろち号」の出発を見送ったほか、駅前ステージでは、コンサートや木次線にちなんだクイズ大会なども行われました。



トロッコ列車「奥出雲おろち号」出発

人が招待されました。当日はサブライズイベン トとして、ご当地ヒーロー「よいとこ戦隊ダイレンジャー」のサ



出雲八代駅での交流



トロッコ列車に乗車する園児たち

クラローザが登場し、記念バッジを子どもたち一人ひとりに手渡し、記念撮影を行いました。

また、出雲八代駅では、布勢幼稚園(奥出雲町)の園児との交流やメッセージ交換もあり、子どもたちはトロッコ列車の旅を満喫しました。

JR下久野駅「駅ナカ農園」

JR下久野駅は、昭和7年12月18日に開業してから今年で80年を迎えました。

“ほっこり”うんなん暮らし

～市民の皆さんの意見を定住促進に反映～

市では、地域の皆さんとの「円卓会議」や「アンケート調査」、またUIターンの皆さんの声を聞き、交流の場とする「UIターン者交流会」を通じて、ニーズ把握や意見交換を行い定住促進に取り組んでいます。

9/25 (日) UIターン者交流会



「かみくの桃源郷」(大東町久野)で久野地区振興会の協力のもと、UIターン交流会を開催しました。

雲南市へUIターンされた方や地域の方など27人が参加し、葉っぱや虫、木の実など自然にあるものを探すゲーム「ネイチャービンゴ」で上久野の自然を満喫した後は、竹を切って「竹筒」を作り、地域でとれた新米を使って「竹筒ごはん」を炊きました。この「竹筒ごはん」は、ほんのり竹の香りがして、参加者からも「美味しい!」と好評でした。

そのほか、地元の方の料理やパーベキューなどを囲みながら交流を楽しみました。



10/6 (木) 三刀屋高校生がUIターン者インタビュー

三刀屋高校では毎年「地域産業研究」実習(インターンシップ)が行われています。インターンシップは、地域課題の発見や将来の職業について考えるきっかけづくり、コミュニケーション能力の向上等を目的に同校1年生が参加し、うんなん暮らし推進課で実習を行った2人が今年1ターンされた田中 学さんとデイビットさんへインタビューを行いました。



【田中 学さん・デイビットさんの紹介】

平成28年3月に神奈川県から雲南市へ1ターン。現在、ふるさと島根定住財団の地域づくり活動体験事業を活用し、それぞれ「三新塔あきば協議会」と「八日市地域づくりの会」を受け入れ先として、カフェの営業や交流の場づくり、イベントの企画など、地域づくり活動に取り組んでいます。

ー移住のきっかけは何ですか。
 東京でポスターや洋服などのデザインの仕事をしていたのですが、東京にはモノがあふれていて、新しいものを作ることに魅力を感じなくなり、地方で暮らしたいと思いました。興味のあったカレーやスパイスから島根や雲南を知り、軽い気持ちで移住を決めました。

ー実際に生活してみているかがですか。
 まちづくりに対する地域のみなさんの姿勢がすごいと思います。行政や地域のサポートもあって、東京より物事が進むスピードが速いです。人も範囲も小規模ということもあって、行政との距離が近く、プロジェクトも進みやすいです。雲南市はおもしろい人がたくさんいるし、自由に行動できるので、自分から行動できる人にはおすすめの地域だと思います。

ー移住を検討している方へメッセージはありますか。
 考えても悩むだけなので、まず来てみるのが一番だと思います。そして、その地域の人と話すことが大切だと思います。

10/12 (水) 雲南市ママパパ会議 (仮称)
 10/27 (木)



市内の子育て中のママやパパが集まり、雲南市の子育て環境について話し合う『雲南市ママパパ会議(仮称)』を開催しました。

「子育て」をテーマに、雲南市で子育てしていく中で「いいな」と思うことや「ちょっとね」と思うことなど話し合い、2回目の会では、速水市長、土江教育長と一緒に子育てについて話し合いました。最後にメンバーひとりひとりが、「子育てで一番大切だと思うこと」などを発表し、市長、教育長と懇談を行いました。



「駅ナカ農園」

「下久野駅長「はなもも君」

花ももステーション 長妻代表
 ション 代表 長妻清さんは、「全国の地域鉄道の駅舎もその昔は大勢の人でにぎわっていた。団塊の世代と言われる皆さんも多く旅立った駅。UIターンも含め、ふるさとへ帰郷された際、さびれた駅舎は見せたくない」との思いから、毎年トロッコ列車の乗客との交流イベントにも取り組んでいらつしゃいます。

現在、地元・下久野地区の有志らで組織する「花ももステーション(平成20年設立)」のメンバーらが、JRの切符販売や駅舎管理を行っています。

下久野駅構内には、線路撤去後の跡地を利用した畑が広がっており、「駅ナカ農園」としてイベント活用されています。夏休み中には、この駅ナカ農園を利用した収穫体験もできるといふ珍しい駅です。



内田健雄さん・ふみかさんのお子さん
たけひろ
雄大ちゃん (大東町仁和寺)
平成27年12月24日生まれ
お誕生日おめでとう♡
たけさんがみんなの元気の源だよ♡
沢山の幸せと笑顔をありがとう♡



梅塚也さん・愛理さんのお子さん
まさき
昌輝ちゃん (加茂町宇治)
平成27年12月22日生まれ
まっちゃん、一歳おめでとう♡
姉ちゃん兄ちゃんといっばい遊んで、
のびのび大きくなってね♡



梅木昌幸さん・由紀子さんのお子さん
こうせい
皇星ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成27年12月22日生まれ
こうちゃん、誕生日おめでとう♡
これからもねえねたちと一緒に
元気に大きくなってね♡



石原裕太さん・美佳さんのお子さん
あお
歩和ちゃん (木次町寺領)
平成27年12月30日生まれ
あお1歳おめでとう☆ 毎日みんな
あおくん癒されてるよ♡
元気に笑顔が大きくなってね☆♡



廣澤功一さん・真紀子さんのお子さん
おうき
桜己ちゃん (木次町里方)
平成27年12月29日生まれ
おうちゃん1歳おめでとう♡
お姉ちゃんお兄ちゃんと仲良く
元気に大きくなってね♡



吾郷進さん・文香さんのお子さん
みな
心菜ちゃん (大東町上佐世)
平成27年12月27日生まれ
お誕生日おめでとう♡
みな笑顔はみんな癒したよ♡
これからもずっと元気でいてね♡



堀江祐輔さん・沙也佳さんのお子さん
なおき
直輝ちゃん (吉田町曾木)
平成27年12月1日生まれ
直ちゃん、誕生日おめでとう♡
たくさん食べて、お兄ちゃんと
仲良くね♡



大野茂さん・千恵美さんのお子さん
そうし
蒼心ちゃん (大東町大東)
平成27年12月10日生まれ
蒼ちゃんのかわいい笑顔にいつも
癒されてるよ♡ ありがとう♡
元気にすくすく育ってね♡



星野裕平さん・弥咲さんのお子さん
ゆうと
裕人ちゃん (加茂町三代)
平成27年12月21日生まれ
1才の誕生日おめでとう裕人♡
これからもたくさん食べて元気に
すくすく育ってね♡



松島恭一さん・五十鈴さんのお子さん
とうり
柊湊ちゃん (大東町大東)
平成27年12月9日生まれ
1歳おめでとう♡ 小さいけれど
存在感は一番♡ 大好きだよ♡
たくましく元気に育ってね♡



泉願証さん・沙耶さんのお子さん
りの
凛音ちゃん (三刀屋町古城)
平成27年12月7日生まれ
お誕生日おめでとう♡
これからも笑顔で元気いっばいの
凛音ちゃんていてね♡



長澤宏和さん・裕美さんのお子さん
ひなたちゃん (大東町下佐世)
平成27年12月20日生まれ
みんなを笑顔にしてくれる ひな
ちゃん♡ 誕生日おめでとう♡
元気に大きくなってね★



若槻裕司さん・沙織さんのお子さん
しゅんた
俊太ちゃん (三刀屋町下熊谷)
平成27年12月10日生まれ
俊くん1歳おめでとう♡
たくさん食べてお兄ちゃんといっばい
あそんで大きくなってね♡

子育てポータルサイト
ゆっくり、子育て。雲南市

子育て情報をひとまとめにしたサイトです。ぜひ、活用ください。
<http://kosodate-unnan.jp> または、右記のQRコードから



今回は木次町の方々の感謝の手紙です。

日本一短い **感謝の手紙** vol.65

雲南市青少年健全育成協議会
(教育委員会社会教育課)
☎0854-40-1073

おかあさんへ
いつもお仕事や家事、おつかれさまです。これからも大好きなお母さんの笑顔のために、お手伝いを頑張るね。
いつも明るく元気なあなた。ムギューしてくれるから疲れも一度に吹き飛ばすよ！これからもよろしくね。

お母さんへ
いつもお仕事お疲れ様。お母さんのポジティブ思考、見習いたいな。伝えきれないけど、いつもありがとう。
あなたは元気の源。どんな時でも笑顔で力強く楽しんで歩いていてね。あなたのおかげでここまで頑張れたよ。



お父さんへ
しごとおつかれさま。いつもかんしゃしています。休みの日はゆっくりしてください。がんばられて思っています。
娘へ
感謝のお手紙ありがとう。あなたの笑顔がお父さんの仕事へのモチベーションとなっています。

おとうさんへ
お父さん、しごとおつかれさま。これからもしごとがんばってね。わたしは学校でべん強をがんばるからね。
娘へ
お手伝いをしてくれてありがとう。妹をだっこしてあやしてくれるので助かっているよ。

1月で満1歳(平成28年1月生まれ)のお子さんを募集!
写真に①お子さんの名前(ふりがな)、②お子さんの誕生日、③ご両親の名前(ふりがな)、④住所、⑤電話番号、⑥コメント(40字程度)を添え、郵便またはE-Mailで**12月5日(月)**までに情報政策課へ送付ください。
郵送される場合のあて先 〒699-1392 雲南市木次町里方521-1 雲南市役所情報政策課「わが家のHOPE」係
E-Mailで送付される場合のあて先 jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp (タイトルは「わが家のHOPE」としてください。)
【問】情報政策課 ☎0854-40-1015
※携帯電話で撮影される場合、顔のアップを撮影されると枠にきれいにおさまらないことがありますのでご注意ください。
※市ホームページおよび子育てポータルサイトにも「わが家のHOPE」を掲載します。 ※お送りいただく個人情報は「わが家のHOPE」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課から電話がないときは問い合わせください。

10/9 (日) 掛合町ふるさとまつり
(掛合町ふるさと大運動会2016)

「第34回掛合町ふるさとまつり(掛合町ふるさと大運動会2016)」が掛合中学校グラウンド周辺で開催されました。掛合中学校吹奏楽部の演奏による入場行進、つづく掛合保育所園児のしょつきり太鼓で幕を開け、町内7地区の選手の皆さんによる玉入れ・綱引き・地区対抗リレーのほか、保育園児や小中学生の競技で盛り上がりました。恒例の「むかで駆伝」や「子むかで競走」、小中学生と大人約100人による「掛合太鼓揃い打ち」、「掛合音頭」と地域の皆さんの参加・協力により、掛合町の秋の一大イベントは大いににぎわいました。



10/16 (日) 世代を超えて歌と踊りで繋ぐ絆 第34回大東よいとこ祭

小雨が混じる曇り空のもと、多くの老若男女が集い、「第34回大東よいとこ祭」が開催され、絆を深めました。出店数が30を超えたテント村では、商品が売り切れる店が続出し、出店者はうれしい悲鳴を上げていました。特設ステージには、初出演となる光舞ほたるや大東町の女性の集いのほか、保育園児にNOB(西おとうちゃんバンド)、よいとこ戦隊ダイトレンジャーなど10団体が登場し、歌や踊りで祭りを盛り上げました。



10/23 (日) きすきがっしょ祭り

「第34回きすきがっしょ祭り」が木次体育館周辺で開催されました。木次こども園と木次小学校、下熊谷ふれあい会の皆さんによるステージイベントや大抽選会が行われ、テント市、各種団体による作品展示など大勢の来場者でにぎわいました。がっしょマンレースには全9チームが参加し、激闘が繰り広げられました。



10/23 (日) ふれあう・つながる・ひろがる輪 みとやっこまつり

「第37回みとやっこまつり」が三刀屋文化体育館アスパルで開催されました。総勢300人による梅が香音頭踊りや、子どもたちによるステージイベント、特産品の出店や文化作品展など地域が一体となり大いににぎわいました。



10/23 (日) 加茂よっといで祭り

「第4回加茂よっといで祭り」が、加茂健康福祉センターかもてらす周辺で開催されました。たちばら保育園のお遊戯やYu-Gaku加茂スポーツクラブのヒップホップダンスなどのステージイベント、テント村、ふわふわドームなどのさまざまな催しがあり、大勢の来場者でにぎわいました。



10/30 (日) 山里で華開く美味しさと楽しさの祭典 ななかまどフェスタ

「第12回ななかまどフェスタ」が吉田総合センター周辺を会場に「日本たまごかけごはんシンポジウム」と同日開催されました。さわやかな秋晴れのもと、町内の保育所や小中学生の発表、文化展や地域の美味と特産品の販売、体験コーナーなどのテント村に、町内外から多くの来場者が訪れ、にぎわいました。特設ステージでは、ダンシングエンジェルズやムラゲレンジャーの出演のほか、ご当地産を景品とした「日本遺産認定記念 じゃんけん大会」も催され、大いに盛り上がりました。



雲南市長選挙及び雲南市議会議員一般選挙

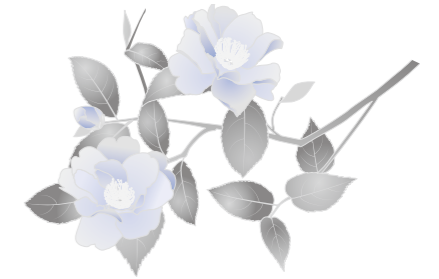
【問】雲南市選挙管理委員会 ☎0854-40-1090

任期満了に伴う、雲南市長選挙及び雲南市議会議員一般選挙が平成28年11月6日に告示され、雲南市長選挙には1人、雲南市議会議員一般選挙には22人が立候補し、それぞれ定数を超えなかったため無投票となりました。

当選者は次のとおりです。

◇雲南市長選挙(無投票) (敬称略)

届出順	氏名	年齢	住所	現・新・元
1	はやみゆういち 速水雄一	70	加茂町	現



◇雲南市議会議員一般選挙(無投票) (届出順、敬称略)

届出順	氏名	年齢	住所	現・新・元	届出順	氏名	年齢	住所	現・新・元
1	にしむらゆういちろう 西村雄一郎	66	三刀屋町	現	12	やかべまさひろ 矢壁正弘	59	大東町	現
2	しらつきとしゆき 白築俊幸	64	掛合町	現	13	やすい 安井 誉	81	三刀屋町	現
3	なかばやし 中林 孝	62	加茂町	新	14	ふじはらのぶひろ 藤原信宏	65	三刀屋町	現
4	つちえりょうじ 土江良治	76	木次町	現	15	きとうたかし 佐藤隆司	55	木次町	現
5	ほそぎてるこ 細木照子	75	大東町	現	16	はらゆうじ 原祐二	54	三刀屋町	現
6	ほそだみのり 細田実	64	大東町	現	17	やまきまさゆき 山崎正幸	66	大東町	現
7	ふじはらまさふみ 藤原政文	59	木次町	元	18	なかむらたつ 中村辰真	52	木次町	現
8	ふかだのりお夫 深田徳夫	72	加茂町	現	19	ほりえしん 堀江 眞	66	吉田町	現
9	まつばやし 松林 孝之	51	加茂町	現	20	すとうつよし 周藤 強	67	木次町	現
10	すとうまさし志 周藤正志	56	木次町	現	21	こばやししん 小林 眞二	69	加茂町	現
11	ほりえはるゆき 堀江 治之	68	木次町	現	22	しょうだいかずみ 上代 和美	58	大東町	新

◇11月5日選挙人名簿登録者数

男	女	合計
16,364人	18,014人	34,378人

10/17
月



雲南市総合社会福祉大会

平成28年度雲南市総合社会福祉大会を木次経済文化会館チェリヴァホールで、地域自主組織や民生児童委員協議会など社会福祉関係者ら380人が参加し開催しました。

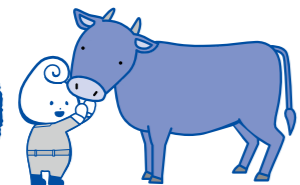
第一部では、今年度100歳を迎えられる方々へ国からの祝状と記念品、101歳を迎えられる方へ雲南市から祝詞と記念品、長年地域福祉の充実に貢献された方へ雲南市社会福祉協議会から表彰および感謝状がそれぞれ贈られました。

第二部では、京都産業大学 准教授 濱野 強^{はまの つよし}さんによる「地域づくりは健康づくり」と題した講演が行われ、「地域の中で人とつながる“場”があることが大切。そうした地域づくりが、結果的に健康づくりになる」と話されました。



▲内閣総理大臣祝状伝達の様子

10/22
土



島根県種畜共進会

島根県種畜共進会が島根中央家畜市場で、48頭の肉用種牛と29頭の乳用種牛が出品され、盛大に開催されました。

雲南市を代表して8人の皆さんに愛牛を出品いただきました。審査の結果は次のとおりです。

○第1部 (肉用種牛の部)

第3区 (若雌牛)

優秀賞6席
大坂運蔵さん(木次町) とみよし号

優良賞首席
高島幹雄さん(大東町) さつき号

優良賞
堀江一夫さん(吉田町) きくみち号

優良賞
渡部 学さん(大東町) まゆ号



▲審査を受ける大坂運蔵さんと「とみよし」号

第4区 (成雌牛)

優良賞首席
亀山 稔さん(木次町) うめ号

優良賞
錦織邦男さん(吉田町) はる号

第5区 (母系牛群)

優秀賞4席
山根 茂さん(木次町) ひらきりかつ号

錦織邦男さん(吉田町) はる号

部位賞 前軀の部

山根 茂さん(木次町) ひらきりかつ号

○第2部 (乳用種牛の部)

第1区 (未経産牛A)

優良賞
石倉和幸さん(大東町) ホワイトピースタードリーム号

同時に開催されたJA女性部和牛審査競技会では、雲南SAKURA姫チーム朝山節子^{あさやま せつこ}さん(三刀屋町)、武田京子^{たけだ きょうこ}さん(大東町)、中西友子^{なかにし ともこ}さん(大東町)、福間貴美子^{ふくま けいみこ}さん(木次町)が第3位に輝きました。

9/9
10/14
金



雲南市独自8人制 社会人サッカーUNNANリーグ

第4回UNNANリーグが大東公園体育館多目的広場サッカー場で開催されました。

このリーグは、雲南市体育協会サッカー部と㈱キラキラ雲南が協力し、青壮年層のサッカー活動をサポートすることに焦点を置き、まだまだサッカーがやりたい20代から40代のサッカー愛好家が定期的に活動できる機会や場所を提供し、同時に雲南市のサッカーの普及と多文化の交流をめざし、体力向上と雲南市のスポーツ活性化に繋がることを目的として実施されています。

今大会には、市内外から10チームが参加し、トーナメント形式で熱戦が繰り広げられました。

大会結果は次のとおりです。

- 優勝 エフシー F C雲南合庁(雲南市)
- 準優勝 レーシング Le SHINJI(松江市)
- 3位 ハイライト(松江市)



▲優勝したF C雲南合庁の皆さん

まちの話題を
紹介するよ



10/13
10/15
木



第9回「小規模多機能自治を考える雲南の集い」 ～雲南ゼミH28秋の陣～

雲南市をはじめ、全国各地で取り込まれつつある小規模多機能自治の仕組みを相互に学びあう場として、「雲南ゼミH28秋の陣」を開催しました。

参加者は、北海道や青森県、東京都や京都府など10都道府県から、行政職員・NPO法人・民間企業、学生等、総勢28人の方々に参加いただきました。

今回は中野地区の笑いがわ市・鍋山地区・日登地区・西日登地区・斐伊地区・三刀屋地区を視察・取材し、意見交換させていただきました。

今後も小規模多機能自治推進に向け、相互に学び高め合いながら取り組んでいきます。



▲地域視察の様子
(西日登交流センター)

10/16
日



雲南市国際文化交流協会設立10周年記念式典& 第8回さくら英語スピーチコンテスト

雲南市国際文化交流協会は平成18年4月に設立され、今年10周年を迎えられました。

これを記念し、雲南市国際文化交流協会設立10周年記念式典および第8回さくら英語スピーチコンテスト(10周年記念大会)が三刀屋文化体育館アスバルで開催されました。



▲記念式典の様子

記念式典は、雲南市国際文化交流協会の会員をはじめ、関係者の出席のもと開催され、10年間の活動報告等が行われました。

また、記念式典終了後は、さくら英語スピーチコンテストが行われました。この大会は平成21年から開催され、雲南市が英語教育を推進していることもあり、年々出場者が増えレベルアップしています。今回は、小学校低学年の部8人、小学校高学年の部17人、中学生の部13人の計38人が出場し、英語で堂々と自分のふるさとを紹介しました。



▲さくら英語スピーチコンテストの様子

10/12
14



「夢」発見ウィーク

11/5
6

市内一斉職業体験学習

市内の中学3年生402人が市内の事業所154カ所に分かれて職場体験学習を行いました。

生徒の感想には、「やりがいを感じる事ができ、貴重な体験がたくさんできた」、「仕事をしてお金を稼ぐことは大変だと感じた。親への感謝の気持ちが強くなった」、「褒めるだけでなく、注意してもらえるのは私達をしっかりと見ていただいていることだと感じた」、「コミュニケーションをきちんととること、あいさつすることは本当に大事だと感じた」とあり、協力いただいた事業所からは、「中学生からやりがいについて質問があり、担当者も自分の仕事について改めて考える良い機会になった」という感想をいただきました。



▲職業体験をする生徒

それぞれの学びについては、各中学校の文化祭や授業公開日でその成果を発表しました。

幸雲南塾 in さんべ

幸雲南塾 in さんべを開催し、市内7中学校、大東高校、島根大学から120人の参加者があり、「カッコいい大人って?」について小グループで考えるグループワークやkotonohaのライブ、避難所運営ゲーム(HUG)をはじめ、17のブースで24人の講師の方々から職業について学ぶキャリアアップワークショップ等の多くの学びに参加しました。

参加した中学3年生は、2日間のプログラムを通じてこれから自分がどんな生き方をしていくのか、卒業までの残りの時間をどのように過ごすのかについて、グループの大学生や高校生たちと一緒に真剣に考えました。



▲キャリアアップ講師の皆さん

10/22
23



事業承継プランニングツアー ＜第1弾；民宿経営＞

第三者承継を検討されている事業者を訪問し、参加者が承継プラン(事業計画)を作成する1泊2日の「事業承継プランニングツアー」を、民宿「山里の宿(大東町)」で開始し、県内外から4人の方が参加されました。

このツアーは、親族内承継などにお困りの事業者を対象に開催することで、主にUIターン希望者などの第三者による事業承継を後押しすることを目的に開催しました。

初開催となる今回は、実際に当民宿にて食事や宿泊を体験するとともに、事業者との意見交換や交流の機

会を設けながら事業計画を作成することで、事業者と参加者、双方にとっての学びの場となり、第三者承継を促すきっかけとなりました。



▲事業者の話聞き、参加者が事業計画を作る様子

10/24



雲南地区日韓親善協会 韓国清道郡訪問

雲南地区日韓親善協会の訪問団(会長景山俊太郎さん)が韓国清道郡を訪問されました。

韓国清道郡と雲南市は、平成23年度から隔年で青少年の相互交流事業を実施していますが、昨年度は中東呼吸器症候群(MERS)の感染拡大により中止となり、交流が途絶えている状況でした。このような中、雲南地区日韓親善協会の訪問団の皆さんが、交流を途絶えさせないように韓国清道郡を訪問されました。

清道郡では李章植副郡守と面会し、景山会長が会長就任挨拶と市長からの親書を手渡されました。

今回の清道郡訪問が、清道郡と雲南市の絆をさらに強くしてくれることでしょう。



▲副郡守に親書を渡す景山会長

10/26



若者チャレンジが プラチナ大賞・総務大臣賞受賞

プラチナ構想ネットワークの主催する「第4回プラチナ大賞最終審査発表会」がイイノホール(東京都千代田区)で開催され、全国の自治体や企業等54団体の応募の中から、雲南市の「幸雲南塾(大人版)～若者チャレンジによる持続可能なまちづくりへの挑戦～」が最上位の「プラチナ大賞」および「総務大臣賞」を受賞しました。

雲南市の受賞は、平成25年度(第1回)の「小規模多機能自治による持続可能型“絆”社会の構築」(特別賞受賞)に続いて二度目の受賞となりました。



▲授賞式の様子



チャレンジの連鎖で まちづくりの更なる飛躍を

雲南市がスタートして満12年が経ちました。この間、めざしたまちづくりのテーマの一つが「市民と行政の協働のまちづくり」です。これまでのまちづくりを振り返る時、スタートから10年を基礎固めの期間とし、これからの10年を飛躍の期間とするまちづくりが進められなければなりません。そして、そうした飛躍が市民の皆さんに実感されつつ進められなければなりません。今年も市内6つの町で、地域を挙げてお祭りが催されました。このことは、今年から総合センターの事業管理課がなくなり、行政側の祭りへの関与が低下したことによるもの指摘もありませんが、それ以上に地域意識の高まりがあればこそだと確信しています。地域自主組織の普段の活動は、主に元気な高齢者の方が主役ですが、どの催しでも若い方々の頑張り、市民の皆様挙げての取り組みを実感しました。

雲南市のまちづくりは、これからは、これからも子ども、若者、大人のチャレンジがうまく連鎖してこそ、持続可能であると確信しています。

そうした大人の皆様の頑張りの具体的な活動である地域自主組織の取り組みが、昨年10月に総務大臣表彰を受賞、それに続き今年10月には、若者の頑張りである幸雲南塾の取り組みが第4回プラチナ大賞で大賞および総務大臣表彰を受賞しました。

こうしたチャレンジの総務大臣表彰の連続受賞はまちづくりの大きな見える化でもあり、今後のまちづくりにしっかり活かされなければなりません。



第4回プラチナ大賞で大賞および総務大臣賞を受賞する速水市長

雲南病院だより

第5回 雲南市立病院建設委員会

11月4日(金)に第5回雲南市立病院建設委員会を開催し、病院建設の進捗状況、病院事業の活動状況および経営状況、公立病院改革プランについて報告と説明を行いました。

委員会の冒頭、松井 護病院事業管理者より、「昨年11月からスタートした建設工事も順調に進んでいることにお礼を申し上げますとともに、今回の委員会では平成28年度中に国より策定の要請を受けている公立病院改革プランについて、委員の皆様へ評価をいただきたい」とあいさつを述べました。

委員会では、病院より提示したそれぞれの議題について、活発な議論をしていただき、貴重なご意見とご提言をいただきました。

熊倉俊一委員長(島根大学)

医学部地域医療教育学講座教授)からは委員会のまとめとして、「病院建設は順調に進んでいて、病院事業の活動状況および病院決算も順調である。委員会としても引き続き順調に推移することを願います」と全体講評をいただき、

「基本方針と具体的な取り組み方法がきちんと整理されており、委員会としてその内容を承認するとともに、委員の皆様よりいただいた意見・提言については、内部で検討をいただきプランに反映をいただきたい」との評価をいただきました。

最後に委員会終了後、委員の皆さんに新本館棟建設現場を視察し、工事の進捗状況を確認していただきました。



▲新本館棟建設現場を視察



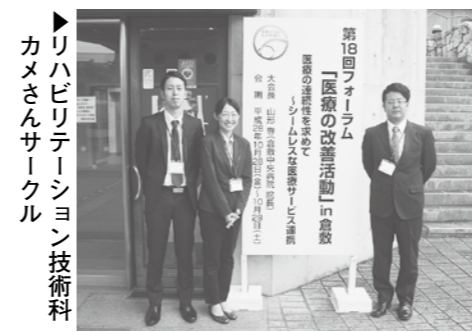
▲委員会の様子

「医療の改善活動」全国大会 in 倉敷

10月28日(金)、倉敷市芸文館で医療の改善活動全国大会に参加しました。

今年3月に行った院内の第6回QC活動発表大会で最優秀賞を受賞した、リハビリテーション技術科のカメさんサークルが参加しました。

数あるセッションの中の「患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの」にエントリーし、「リハビリ実施計画書を説明し、患者様に安心してリハビリを受けていただくこう!」の演題で発表しました。



▶リハビリテーション技術科 カメさんサークル

結果は、惜しくも優秀賞は逃しましたが、「他の病院の参考になる素晴らしい発表だった」「しっかりと現状把握ができている」などと講評をいただきました。会場からも、対策実施の一事例を「ぜひ自分の病院に持ち帰って活用したい」との意見もいただきました。

これからも、常に問題意識を持ち、患者さん本位で質の良い医療が提供できるように、QC活動を通じて邁進していきます。



▲発表の様子

インフルエンザの季節到来

インフルエンザとは

●風邪とは全く異なる、インフルエンザウイルスという感染力の強いウイルスによって引き起こされる感染症です。年間を通じて発生する可能性はありますが、特に流行する冬期には厳重な対策が必要となります。

●咳・くしゃみ・会話などでウイルスを含む唾液や痰などが飛沫(ひまつ)となって空中に飛び、これを吸引して感染する飛沫感染と、ウイルスが付着したところを触った手指で鼻や目を擦ったり、その手でつかんだものを食べたりすることで感染する接触感染の2通りの感染経路により感染します。

●潜伏期間は平均2日、発症の1日前から発症後7日くらいまでの間は他人にうつしてしまう可能性があります。

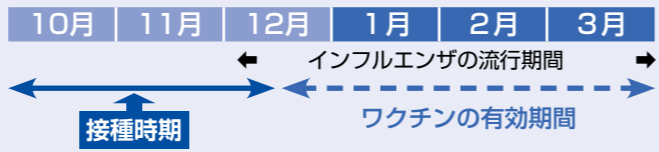
●症状は風邪症状のみから、高熱や関節痛を伴う全身症状までさまざまです。

●咽頭炎・気管支炎・肺炎、中耳炎などさまざまな合併症を誘発しますが、特に高齢者にとって深刻なのは肺炎です。

●日本人の死因の中で肺炎は、がん・心疾患に次いで第3位に位置します。亡くなる方は年間12万人で、その中で96.8%は65歳以上の方です。

ワクチンの接種時期

ワクチンの効果持続期間は接種後最短2週間後から5ヵ月程度です。



流行が始まる前の10月上旬~12月中旬には接種することが望ましい。

インフルエンザにかかってしまったら

- 「咳エチケット」という言葉をご存知でしょうか?自分から感染が広がるのを防ぐために、咳・くしゃみが人に直接かからないようにすることを咳エチケットといいます。
- インフルエンザにかかったかもしれないときは、咳エチケットを行い、マスクを着用し医療機関を受診しましょう。
- インフルエンザの検査は発症から概ね12時間以上経っていないと、正確な診断ができません。夜中に急に発熱したからと言って、急いで医療機関を受診する必要はありませんので、まずは電話で相談ください。
- 発症後48時間以内に抗インフルエンザウイルス薬で治療をすれば、症状がある期間を短縮し、合併症の危険性を減少させることができます。

今年度のインフルエンザ

沖縄県では、那覇市で定点あたり11.17人と注意報レベルである10人を超えたことから、早い流行の立ち上がりとなっています。沖縄県で流行しているのはA香港型で、10歳代以下で流行しているようです。

このような状況の中、島根県でも10月下旬ごろから少しずつ患者の発生が報告されています。今年度は昨年度よりも早く、12月には流行入りするのではないかと予報もありますので、今後の動向に注意が必要です。

面会制限について

インフルエンザは非常に感染力が強く、かかってしまうと重篤におちいる場合があるため医療施設では厳重な対策が必要となります。

当院ではインフルエンザの流行期になると、入院患者さんへの感染を防ぐ目的で家族以外の方の不要・不急の面会の制限を実施する場合があります。病院には抵抗力が弱い入院患者さんがたくさんおられます。面会制限は感染力が強いインフルエンザなどから入院患者さんを守る有力な手段のひとつでもあります。

ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(感染管理認定看護師 しばとみりょうた 茂富良太)

インフルエンザにかからないために

- 人ごみを避け、外出を控える
- 外出するときにはマスクをつける
⇒鼻と口をしっかりと覆い、隙間がないように着用することがポイント!
- 外出から帰宅したら手洗い・うがいをする
⇒手洗いは、手のひら・手の甲・指の間・つめ・親指・手首の6ヵ所をムラなく!
⇒うがいは水でいいので「15秒を2回」を目安にしましょう。
- 室内を加湿する
⇒部屋の湿度をインフルエンザウイルスの活性が低下する50~60%に保つとよい。
- ワクチンを接種する
⇒インフルエンザが流行する前にワクチンを接種することをお勧めします。特にインフルエンザにかかる重篤化する危険がある人(65歳以上の高齢者、慢性疾患を持つ方、妊婦、2歳以下の小児、長期療養施設等の入所者等)は接種しておく必要があります。
⇒ワクチンはインフルエンザを完全に予防するものではなく、インフルエンザによる重篤な合併症や死亡を予防し、健康被害を最小限にする効果があります。
⇒ワクチンの中に入っているインフルエンザウイルスの株と流行している株が一致している場合の発病予防効果は、65歳以下の健康な成人で70~90%程度とされています。65歳以上の高齢者の場合、健康な成人と比較して効果は下がりますが、入院や肺炎を予防する効果が50~60%、死亡の予防効果は80%程度あるとされています。
⇒65歳以上では重篤な合併症である肺炎を予防するために、肺炎球菌ワクチンも接種しておきましょう。



咳エチケットの
ご協力をお願いします

咳エチケットとは、咳やくしゃみをする際に、手で顔を隠さず、肘の内側またはティッシュペーパーや袖口で口と鼻を覆うことです。

正しい方法でマスクを着用する

ティッシュ等で鼻と口を押える

周りの人から顔をどわけて1m以上離れる

使ったティッシュは蓋付きゴミ箱へ

手洗いや鼻水がついたら手を洗いましう

「夢」発見ウィーク

10月12日から14日までの3日間、「夢」発見ウィークが行われました。これはふるさとへの誇りと将来への夢を抱き、すすんで社会貢献できる心豊かな子どもの育成に取り組むプログラムの一環として、雲南市内の7中学校の3年生が同じ日程で、市内全域を活動場所として行う職場体験学習のことで、当院では10人を受け入れました。

初日は眼科体験をしてから手術室を見学し、午後からは各病棟に分かれて看護の体験をしました。車椅子に乗ったりベッドのシーツを交換したり、生まれたばかりの赤ちゃんを抱っこしてミルクをあげたりして看護師の仕事を体験しました。

2日目と3日目は、医療技術職場体験として保健推進課や地域連携室、薬剤科、検査科、放射線科、リハビリテーション科、栄養管理科の体験を行いました。

した。各部署の専門職の仕事の内容を知り、実際に仕事の一部を体験しました。栄養管理科ではクリスマスシーズンに折り紙で入院患者さんのお膳に飾るサンタクロースを作りました。

最終日には、病院ボランティア「てごっ人」の皆さんと、車椅子のタイヤに空気を入れたり、外来の長椅子を雑巾で拭いたりなどの院内の清掃活動をしました。清掃活動の後には、新病院の建設現場も見学しました。建設現場には、同じように職場体験学習をしている中学生に建設についての説明をもらう場面もありました。

生徒たちは「将来を考えるきっかけになった」「仕事の大変さを知ることができた」「患者さんを第一に考えていた職員の方々の想いに感動しました」など感想を述べていました。



▲ボランティアさんと車椅子の点検



▲栄養管理科の体験



▲看護師体験の様子

まなびや 糖尿病学舎

日時：12月8日(木) 13:30～15:00

場所：雲南市立病院 4階大会議室

内容：■「糖尿病の合併症のお話」

講師：服部修三内科医師

■「検査のお話」

■「日常生活の注意点のお話」

食事・運動・薬などの個別相談コーナーあり

参加費無料 要予約



お知らせ

市民健康講座 家族を守り隊！

～ここで学んであなたも<おうちナース>になろう！～

日時：12月14日(水) 14:00～16:00

場所：雲南市立病院 4階大会議室

テーマ：「大腸がんのいろんなことがわかる！」

～予防から治療まで～

内容：■「大腸がんとは」

講師：冨谷ひとみ外科医師

■「雲南市の大腸がんの現状と予防」

■「大腸内視鏡検査ってどんな検査??」

参加費無料 要予約

<予約・問い合わせ> 雲南市立病院 保健推進課 ☎0854-43-3602

放射線科より 「外科用イメージ装置の紹介」

今回はわかりやすくするために対話形式にしています

雲南市立病院勤務20年の診療放射線技師

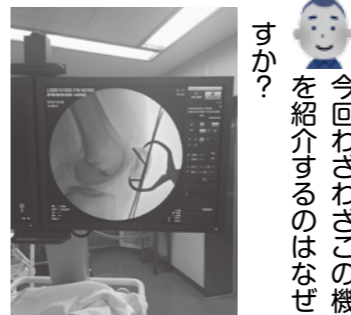
雲南市内の中学2年生の男子

今日は、放射線科の中でもあまり馴染みのない外科用イメージ装置について話をしますよ。

外科用イメージ装置？知らないな、見たこともないし。

そう、馴染みがないのはこの機械が手術室にあるからなんだ。

手術のときに使う機械なんですか？



▲デジタル画像

今回わざわざこの機械を紹介するのはなぜですか？

手術の手助けになる非常に大切な機械なんだ。

骨をテレビに映しながら手術をするんですね。

手術に使う機械なんだけど、全ての手術に必要なわけではないんだ。主に整形外科で使用しているよ。手術のときにレントゲン画像を見ながら行うんだ。

高性能って？

それはね、以前から使っていたものが古くなってしまい、修理ができなくなり、昨年から新しい機械が導入されたからなんだ。以前のものよりはるかに高性能になったんだ。

デジタル化って何がいいですか？

まずは、レントゲンをテレビで見る画像が数段よくなったこと。普段のみんなが見ているテレビと同じでデジタル化されたんだよ。細かいところまでよく見えるようになったんだ。100万画素のCCDカメラ搭載で、これはレントゲン透視画像ではすごいことなんだ。

そうだね、レントゲンは被ばく低減に役立つんだ。アナログだと連続してX線を照射しないと見えないけど、デジタルだとパルス状にX線を照射することができんだ。ずーと照射しっぱなしじゃなく

て、ポツポツ照射するイメージだね。

それはいいことですね。画像はいいし、被ばくは少ないし。

知ってもらえていい機会になったよ。でもまだこの機械ならではの特徴があるんだ。

それは何ですか？

少し長くなるよ。手術で使う機械となると清潔っていうのがとても大事な条件なんだ。手術中、機械を清潔に保つにはX線を受けるところを清潔なカバーで覆ったりするんだ、もちろん私たち技師はそこに触れることができない。患者さんの患部(手術するところ)をアームを使っていろいろな方向からサポートしなければならぬ。そのためには可動性、遠隔操作性がよくないといけないんだ。そのためにもこの機械は軽量化されているんだ。また、この機械はケーブルがアームに内蔵されて

携帯のスマートフォンにタッチするのと同じ操作なんです。

使やすさは、考えられてるね。最後に、一番大切なのはこの機械にお世話にならないこと、日ごろから怪我には気を付けて骨折をしない生活をめざしてほしいね。

わかりました。だから仕方ないときもあるから、万が一手術をするとき、機械を見つけたら、今日の話を思い出しますよ。

少しでもわかってもらえて嬉しいよ。次回は別の機械の話をするね。

若者による地域課題解決をすすめる『若者チャレンジ』を紹介する

うんなんの若チャレ▶▶▶▶▶

NPO法人 おっちラボ **平井佑佳さん**

雲南市の心豊かな人の営みを紡ぎたい



○生い立ちについて教えてください。

加茂町生まれで、高校から出雲に出ました。高校卒業後は、アルバイトなどをしていたのですが、このままでもいいのかという思いを強く持っていました。また、将来についてのイメージが持てない時期でした。

平成23年にキラキラ雲南から舞台裏方のお手伝いに誘っていただきました。数回参加するうちに、少しずつ自分も誰かの役に立てている、仕事を頑張っていると実感するようになっていきました。

平成24年に「神話博しまね」のスタッフになったことをきっかけに、島根県の嘱託職員として働くことになりました。将来について少しずつイメージを描けるようになっていきました。

○幸雲南塾やおっちラボとはどのように出会われましたか？

自分がこの土地で暮らせる展望が持てるようになったことで、私の大好きな里山の風景、その中に暮らす方の営みがずっと続いてほしい、そのために私も主体的に動いていきたいと思うようになりました。

その中で縁あって「幸雲南塾2014」に参加し、自分の好きな着物に関するマイプランを作り発表しました。一緒に頑張る仲間や、全国の前輩実践家の姿から非常に刺激を受け、これをきっかけに地域のことに関心が向きました。そんなとき「おっちラボで頑張ってみない？」という声をいただき、働くことになりました。

○実際に働いてみてどうですか？

最初は地元で働くことができて良かったと安堵しているような気持ちもありましたが、塾生として支援を受ける側から支援する側になることや、それまで受け継がれてきた「幸雲南塾」という事業のバトンを受け継ぐことに大きな責任を感じ

ました。そのため、力不足に焦って自分の役割を見失いかけたこともありましたが、でも、幸雲南塾生のプランが形になることを通じて、自分を含めた雲南に暮らすたくさんの人たちの笑顔につながることを感じ、さらに若い人たちの頑張る姿が増えたと実感しています。

○幸雲南塾ではどんな役割を担っていますか？

今期（第6期）は、幸雲南塾全体の運営担当と「森のようちえん」づくりをめざす、「Joynt」の担当サポーターとして、事業を進めていくための戦略と一緒に考えたり、困りごとを聞き、支援してくれそうな方を紹介したりしています。「森のようちえん」が子どもたち、保護者の皆さん、地域の方など関わる方みんなが笑顔になるようなプランとして成果が出せるものになればと思っています。

○今後の展望について教えてください。

おっちラボとしては、雲南市の暮らしを“創り”“守る”若者「ローカルチャレンジャー」の活動をよりよく支援していけるように、幸雲南塾などの事業のやり方を毎年改善していきたいと思っています。

また、私個人としては、今は周りの人に恵まれ助けられていることが多いですが、サポートをお返ししたり、次の世代に渡すことができよう、成長していきたいと思っています。

雲南市の人の温かさ、自然に囲まれた暮らしの豊かさなどの魅力が伝えられるような存在になっていきたいです。

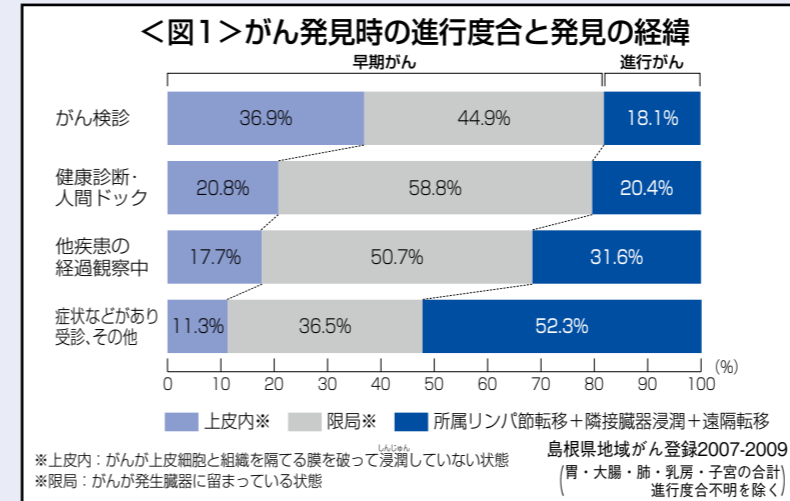
○雲南市の若者にメッセージをお願いします。

ぜひ、三日市ラボを覗いてみてください！そこで市内で頑張っている人に出会って、話をしてほしいです。また、幸雲南塾生のサポートにも、ぜひ皆さんの力を貸してください！

大腸がん検診を受けていますか？

無症状のうちに「がん」を早期に見出し治療することが大切です。

大腸がんは島根県で1番多いがんです。特に雲南市の60歳代男性のがんによる死亡率は、県平均より高い状況です。郵送大腸がん検診（便潜血検査）は、便が腸内を移動する際にがんやポリープと擦れて出血したわずかな血液も検知が可能で、有効な検診として証明されています。図1にあるように、がんは自覚症状がないまま進行していくため、早く見つけるためには「定期的ながん検診」が大切です。検査は2日間採便し、ポストに投函するだけという手軽なものです。今年度未受診の方はぜひ受けましょ



～郵送大腸がん検診の手順～

- ①購入する (500円)
大腸がん検診容器をお渡しします。総合センター、交流センター、健康推進課にお越しください。
※70歳以上の方、無料クーポン券対象の方は無料です。
 - ②2日分便を採る
 - ③ポストに投函 (12/14までに)
提出用封筒に問診票と検査容器を入れ、投函してください。検診結果は後日郵送します。
- ※詳しくは成人健診のしおりをご覧ください。交流センターによって取扱期間等が異なる場合がありますので、詳細については健康推進課 (☎0854-40-1045) へ問い合わせください。
※また、雲南市内の医療機関でも受けることができます。

Hello Everyone

国際交流員 (CIR) の迷言コーナー

こんにちは、ダニエルです。

アメリカの年末年始は、日本のように家族で祝う習慣やおせち料理のように決まった食べ物はありません。ですが、多くの人が12月31日の夜にパーティーをします。

アメリカで最も有名な年末パーティーは毎年ニューヨークのタイムズスクエアで行われます。有名なミュージシャンによる演奏を背景にタイムズスクエア・ボールがゆっくりと落下するのを多くの人が待ちます。

今では最も有名な「タイムボール」ですが、その由来は1833年のイギリスのグリニッジ市です。毎日午後1時に落下するボールを見て、船長がクロノメーター (船の特殊な時計) を正確に調節したと言

うんなんでしょう

われています。そのシステムが世界中に導入され、合計150個が存在していました。今はほとんど使用されていませんが、タイムズスクエアではその伝統が守られています。

私が子どものときによく覚えているのは、12月31日にはずっと起きていてもよかったということです。友達の家でパーティーをしたり、または自分の家で家族とテレビを見て来年について語ったりしました。

毎年必ず見ていたのは、テレビに映るこの大きなボールでした。日本に来てからは見ていませんが、帰って見るのを楽しみにしています。

タイムズスクエアボール Times Square Ball ▶



指導員 (左) による握力検査の様子

今年も各町で市集団特定健診が開催されました。該当者の皆さんは忘れないで受診されましたか？
今年の特健健診では、緑色のポロシャツを着た「地域運動指導員 (以下、指導員)」が健診のスタッフとして参加し、握力検査を担当しました (写真)。受診者の中には、顔見知りや会って話が弾んだ方もいらっしゃいました。

地域運動指導員の活動紹介

握力は健康状態の目安
ところで、握力は全身の総合的な筋肉量を予測する指標で、気軽に測定できるため健診や調査でよく用いられます。最新の研究では、握力が低ければ低いほど、心筋梗塞や脳卒中となる危険性が高くなると言われ、握力低下だけでなく病気を予測する重要な指標でもあります。こうした計測データを市民の皆さんの健康づくりに役立てるため、市では島根大学と協働で調査研究をすすめています。指導員も、皆さんの健康づくりを応援する身近な支援者として計測のお手伝いをしました。

現在の自分の握力を知ることが健康管理に役立ちます。このような機会のおかげにも、地域の健康教室などを活用して握力を測ってみましょう。

指導員は、からだを動かす「楽しさ」と「大切さ」を広く市民の皆さんに伝えるため、地域のいきいきサロンなどで活動しています。

皆さんもぜひ指導員と一緒に楽しくからだを動かしましょう。指導員については研究所うんなんへお問い合わせください。

身体教育医学研究所うんなん
☎0854-49-9050

**おめでとう
いっしょにまっか**

- ◎秋の叙勲
瑞宝双光章
消防功勞により
木村 昭憲さん（大東町）
瑞宝単光章
消防功勞により
和田 彰雄さん（大東町）
- ◎平成28年度スポーツ推進委員功勞者表彰（文部科学大臣表彰）
体育指導員およびスポーツ推進員として地域スポーツの普及振興に多大な貢献をされた功績により
妹尾 幸二さん（三刀屋町）
- ◎厚生労働大臣感謝状
戦没者遺骨収集事業の推進に多大な貢献をされた功績により
小池 満さん（三刀屋町）
- ◎第52回献血運動推進全国大会厚生労働大臣表彰
大東ライオンズクラブ
三刀屋ライオンズクラブ

◎平成28年度島根県献血推進協議会功勞者表彰
個人の部

- （献血実績100回以上達成者）
松浦 良至さん（加茂町）
（献血実績200回以上達成者）
藤原 嘉樹さん（三刀屋町）
（献血実績300回以上達成者）
高島 寛さん（大東町）
- ◎スポーツ推進委員功勞者表彰（全国表彰）
体育指導員およびスポーツ推進員として地域スポーツの普及振興に尽力された功績により
石飛 啓さん（三刀屋町）
- ◎公平委員会制度65周年記念総務大臣表彰
多年にわたり公平委員会の委員として公正な人事行政の確立に尽力された功績により
若槻 益雄さん（大東町）
古林 修さん（三刀屋町）

◎平成28年度人権教育・啓発功勞者表彰（島根県知事表彰）
雲南地域同和問題企業等連絡協議会

- 雲南市および関係施設に次のご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
- ◎雲南市
千原 孝美さん（三刀屋町）
- ふるさと納税
田邊誠一郎さん（兵庫県明石市）
西田 修さん（東京都練馬区）
菱沼 創さん（東京都墨田区）
東 千緒子さん（東京都北区）
佐藤三枝子さん（神奈川県川崎市）
石飛 宣夫さん（神奈川県横浜市）
川北 秀人さん（東京都中央区）
本田 千穂さん（岡山県岡山市）
高田 浩二さん（大東町）
石田 雅彦さん（東京都小金井市）
川口 りおさん（石川県金沢市）
三重野 寿恵さん（東京都大田区）
尾末 高彰さん（香川県高松市）
勝部 恒夫さん（茨城県水戸市）
加藤真由美さん（埼玉県川口市）
篠原 泰子さん（東京都武蔵野市）

◎永井隆記念館
写真ほか
横田高等学校卒業55周年記念同窓会

- ◎永井隆記念館
写真ほか
横田高等学校卒業55周年記念同窓会
- ◎人権週間
雲南市人権センター
0854-42-1767
12月4日（日）から10日（土）までは「人権週間」です。
1948（昭和23）年12月10日に、国際連合において世界人権宣言が採択されたことを記念して、日本では12月10日までの7日間を毎年「人権週間」と定めています。
誰もが自分の権利を当たり前に得られる社会の実現に向けて、考えてみませんか？
- ◎特設人権相談所の開設
雲南市人権センター
0854-42-1767
出雲人権擁護委員協議会と松江地方法務局出雲支局では次のとおり特設人権相談所を開設します。
- ◎大東町
【日時】12月7日（水）
10時から13時まで
【場所】大東総合センター
◎加茂町

**幼稚園・保育所施設
の認定こども園化**

認定こども園への移行計画

移行年度	対象園
平成29年度	大東幼稚園
平成30年度以降	西幼稚園、斐伊保育所、吉田保育所、かもめ保育所、三刀屋保育所、掛合保育所

- 【日時】12月5日（月）
9時から正午まで
【場所】加茂総合センター
- ◎木次町
【日時】12月9日（金）
13時から16時まで
【場所】木次総合センター
- ◎三刀屋町
【日時】12月5日（月）
10時から13時まで
【場所】三刀屋総合センター
- ◎吉田町
【日時】12月6日（火）
10時から13時まで
【場所】吉田健康福祉センター
- ◎掛合町
【日時】12月8日（木）
9時から正午まで
【場所】掛合まめなかセンター

か？相談は無料で、秘密は守られます。お気軽に相談ください。

子ども政策課
0854-40-1044

市では「幼児期における質の高い教育の提供」および「保育ニーズの増加に対応した保育量の拡大」という2つの目的を達成するため、市内の公立幼稚園・保育施設について順次、認定こども園化していくことを計画しています。

平成29年度に移行を予定している大東幼稚園については、現在入園されている保護者の方々などを対象に説明会や資料送付等により周知させ

ていただいているところですが、その際に配付した資料を次のとおり公開・配布しています。

来年度、入園を希望していただける方などは参考にしてください。

- 市ホームページ「生活シーンで選ぶ「子育て」「子育てポータルサイト」で公開
- 子ども政策課および各総合センター市民福祉課で配布

**平成29年度放課後
児童クラブ入会募集**

子ども政策課
0854-40-1044

平成29年度の児童クラブの入会募集を行います。

【入会の基準】
原則として、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童とします。（受入に余裕がない場

**障害者週間
12/3～9**

長寿障がい福祉課
0854-40-1042

12月3日は国際連合の国際デーの一つである「国際障害者デー」です。また、わが国では毎年12月3日から12月9日までを「障害者週間」と定めています。

誰もが障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経

**受けられましたか？
後期高齢者歯科口腔健診**

健康推進課
0854-40-1045

後期高齢者歯科口腔健診は、12月まで行っています。対象者は、今年度76歳から83歳になられる方です。費用は無料です。

対象の方で、まだ受診しておられない方は、自分の歯や口の健康づくりのために、ぜひこの機会に受けてみましょう。

※対象者には個別通知しています。

広告枠

私たちは、雲南市のまちづくりを応援しています。

「一種混合」予防接種を受けましょう

健康づくり政策課
☎0854・40・1045
ジフテリア・破傷風（二種混合）予防接種を実施しています。接種期限は3月末までです。まだ接種を受けておられない方は、早めに接種を受けましょう。

【対象者】
今年度小学6年生の方（平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれ）

【接種期限】
平成29年3月31日まで

【接種方法】
市内医療機関に各自で予約後、接種を受けてください。

12月の税金

- ・固定資産税（第3期）
- ・国民健康保険料（第6期）
- ・後期高齢者医療保険料（第6期）

納期限は

12月26日

「家屋を取り壊したときは速やかに届け出をしましょう」

税務課
☎0854・40・1034
平成28年中に家屋を取り壊した方は、手続きが必要です。12月末日までに次の手続きをしてください。

※固定資産税は、毎年賦課期日（1月1日）現在に所有している土地、家屋、償却資産が課税の対象です。そのため、平成28年中に取り壊した家屋は来年度から課税されなくなります。
※取り壊した家屋が住宅の場合、住宅用地に対する特例措置の適用が無くなり、翌年度の土地に係る固定資産税が上昇することがあります。

「登記されている家屋を取り壊した場合」

法務局で滅失登記の申請をしてください（滅失登記が完了すると、法務局から登記された旨が市へ通知されますので、市での手続きは不要です）。滅失登記についての詳細は、松江地方法務局出張支局へ問い合わせください。
12月末日までに滅失登記の申請が間に合わない場合は、

【三日の持参品】

母子健康手帳、ジフテリア・破傷風（二種混合）予防票

【費用】
無料。ただし、定められた期間を過ぎると全額自己負担となります。

※二種混合予防接種は三種混合1期または四種混合1期の予防接種が規定通りに終了していないと効果が期待できない場合がありますので、母子健康手帳で確認ください。

※予防票を紛失された方は、問い合わせください。

「麻しん風しん2期予防接種を受けましょう」

健康づくり政策課

☎0854・40・1045

麻しん・風しん（MR混合）2期予防接種を実施しています。

4月・10月に対象者に向けて通知を送っています。まだ接種を受けておられない方は早めに接種を受けましょう。

【対象者】
5歳以上7歳未満の方で小学校就学前1年間の方（平成22年4月2日から平成23年4月1日生まれ）

【接種期限】
平成29年3月31日まで

【接種方法】

市内医療機関に各自で予約後、接種を受けてください。

【三日の持参品】

母子健康手帳、麻しん・風しん（MR混合）2期予防票

【費用】
無料。ただし、定められた期間を過ぎると全額自己負担となります。

お子さんがはしかや風しんにかからないために、麻しん・風しんの予防接種は1歳時に1回、小学校就学前に1回の計2回接種しましょう。確実に免疫をつけるために、推奨された期間で接種しましょう。※予防票を紛失された方は問い合わせください。

「農用地区域変更申請は1月31日まで」

農林振興課

☎0854・40・1051

農業委員事務局
☎0854・40・1092

農業振興地域整備計画に定める農用地区域内の農地を転用する場合は、まず県知事に対する農用地区域からの除外の手続きが必要です。また、農用地区域への編入や農業用施設等の用地として用途を変更する場合も同様に手続きが

必要です。

■農用地区域とは

鳥根県では、将来にわたり農業の振興を図る必要があると認められる地域を「農業振興地域」として定めており、その区域内の農地を農用地区域といいます。

■農地転用とは

農地を住宅用地や駐車場、墓地などの農地以外の用途にすることを「転用」といいます。この転用をするためには、農地法等、関係法令に基づく許可が必要です。

自分の農地であっても自由に転用することはできませんし、どこでも許可が得られるとは限りません。

■農用地区域内での転用には

農用地区域内でやむを得ず転用する場合は、「農用地区域からの除外」を行う必要があります。

転用を計画している方は、事前に農林振興課、農業委員事務局または地元農業委員に相談し、除外手続きが必要かどうか確認の上、手続きが必要な場合は除外申請書を農林振興課または総合センター自治振興課へ提出してください。

■除外申請の時期は

市での除外等申請の受付

は、毎年7月末と1月末の年2回を予定しています。受付後、県との協議等を経て手続きが完了するまで概ね6カ月必要と考えてください。

加えて、除外完了後から転用許可までも日数を要しますので、転用の計画がある方は早めに相談・手続きをしてください。

農用地区域からの除外等の相談は農林振興課で、農地転用・農地の売買・貸し借り等の相談は農業委員事務局で受け付けています。

「農地転用の許可事務を農業委員会でを行います」

農業委員会

☎0854・40・1092

市民サービスの向上を図る取り組みとして、これまで県で行っていた農地転用の許可事務を平成29年1月から雲南市農業委員会でを行います。

この権限移譲に伴い、申請書類の提出部数に変更になります。

◎変更後1部（変更前2部）市で許可事務を行うことで、申請から許可までの期間が短縮されます。

※書類の提出はこれまでどおり農業委員事務局です。

税務課または各総合センター市民福祉課へ「家屋滅失届」を提出してください（認印を持参ください）。様式は市ホームページからもダウンロードできます。

「未登記家屋を取り壊した場合」

税務課または各総合センター市民福祉課へ「家屋滅失届」を提出してください（認印を持参ください）。様式は市ホームページから

もダウンロードできます。また、平成28年度固定資産税課税明細書に、既に取り壊した家屋が記載されている場合は税務課へ連絡ください。

「住宅リフォーム支援事業」

建築住宅課

☎0854・40・1065

安全で快適な住まい環境づくりおよび地域経済活性化のために、住宅の改修工事に対して助成を行います。

【助成メニュー】

- 雲南市の耐震補強設計への上乘せ助成
- 雲南市の耐震改修工事への上乘せ助成
- 島根県の「バリアフリーリフォーム」への上乘せ助成

年末年始業務日程

【問】 総務課（市役所） ☎0854-40-1021
市民生活課（三刀屋火葬場） ☎0854-40-1031
環境政策課（ごみ収集） ☎0854-40-1033

年末年始の業務について、下表の「×」は休業します。

業務	月日	12/29(木)	12/30(金)	12/31(土)	1/1(日)	1/2(月)	1/3(火)	1/4(水)
市役所 ☎0854-40-1000		×	×	×	×	×	×	○
ごみ収集 可燃ごみ 雲南エネルギーセンター ☎0854-49-6332	大東町	○	×	×	×	×	×	×
	加茂町	×	○	×	×	×	×	×
	木次町	×	○	×	×	×	×	×
不燃ごみ リサイクルプラザ ☎0854-42-3391	大東町	×	×	×	×	×	×	×
	加茂町	×	×	×	×	×	×	×
	木次町	×	×	×	×	×	×	×
ごみ収集 可燃ごみ いいしクリーンセンター ☎0854-72-9217	三刀屋町	○	×	×	×	×	×	×
	吉田町	○	×	×	×	×	×	×
三刀屋火葬場 ☎0854-45-3242		○	○	○	×	×	○	○

※1 ごみの直接持込みは、年末は、各施設とも12月30日まで受け付けます。年始は、各施設とも1月4日から受け付けます。
※2 年明け可燃ごみ収集は、大東町・加茂町・吉田町・掛合町が1月5日（木）からです。木次町・三刀屋町が1月6日（金）からです。
※3 年明け不燃ごみ収集は、各戸に配布の収集カレンダーのとおり行います。

**子育て世帯定住
宅地貸付け事業**

建設住宅課
☎0854401065

定住人口の増加および地域活性化のために、子育て世帯に住宅地を25年間で償還し、期間満了後は無償譲渡します。

- 【対象住宅地】
- 下熊谷西住宅団地(木次町)5区画
 - 吉田住宅団地(吉田町)2区画

【申請者の条件】

- 以下の条件にすべて該当する方が申請できます。
- ・自らが居住する住宅を建築し、定住する子育て世帯
- ・貸付地を借りてから2年以内に住宅を建築できる方
- ・年間所得が200万円以上ある方
- ・満20歳以上60歳未満の方
- ・賃貸借契約が確実に履行できる方

条件や事業内容等、詳しい内容は問い合わせください。

★子育て世帯とは・・・夫婦の年齢若しくは夫婦いずれかの年齢が40歳未満である世帯または年齢が16歳未満のお子さんがある世帯

**子育て世帯定住
宅地購入支援事業**

建設住宅課
☎0854401065

定住人口の増加および地域活性化のために、市内に宅地を購入し定住する子育て世帯を対象に、宅地購入費に対して補助金を交付します。

- 【条件】
- 民間売買によって購入した市内の住宅地で以下による場合
 - ・住宅を新築するために住宅地を購入する場合
 - ・中古住宅を住宅地と一緒に購入する場合

○住宅地の購入費が100万円以上

○平成27年4月1日以降の売買契約によるもので、土地の登記が完了していないこと

【補助内容】

宅地購入価格の1/10(最大50万円)

年間予算枠残りわずかとなりました。早めに相談ください。補助率や条件等、詳しい内容は問い合わせください。

★子育て世帯とは・・・夫婦の年齢若しくは夫婦いずれかの年齢が40歳未満である世帯または年齢が16歳未満のお子さんがある世帯

シリーズ
3

《安来市・奥出雲町・雲南市共同企画》

いづものくに ふどき
日本遺産「出雲國たたら風土記
～鉄づくり千年が生んだ物語～

神々が伝えるたたら製鉄

優れた技術に基づいたたたら製鉄は、私たちの暮らしの中で重要な産業であり続けてきました。その技と歴史の始まりは「ヤマタノオロチ神話」と鉄の神様「金屋子神」の神話によって彩られています。

ヤマタノオロチ神話とたたら製鉄 出雲神楽



私たちは、スサノオのヤマタノオロチ退治神話の世界を神楽を通じて体感することができます。出雲地方では、この神話に登場するヤマタノオロチを砂鉄採取の影響で氾濫する川になぞらえ、退治したオロチから取り出された剣を製鉄の象徴に、イナタヒメは砂鉄採取の跡地に拓かれた稲田に見立て、「たたら製鉄の歴史」と重ね合わせながら語り継いできました。この神話は、神代の時代からたたら製鉄がこの地域の生活や文化と切り離すことのできないものであったことを表しています。

鉄の神様を祀る 金屋子神社

安来市広瀬町には鉄の女神様「金屋子神」を祀る金屋子神社の総本社があります。金屋子神は現在の兵庫県からシラサギに乗って広瀬町西比田にやって来て、この地にたたらを伝えました。人々は金屋子神にお参りし、製鉄や鍛冶などの仕事の成功を祈ってきました。たたら製鉄が盛んであった江戸時代から明治時代には、中国山地をはじめ大阪、四国、九州でも信仰されました。金屋子神社の鳥居や灯籠には各地の信仰者の名前が刻まれており、信仰の広がりを知ることができます。一方、金屋子神には興味深いエピソードがいくつかあります。例えば、好物であるミカンをいただくと、無病息災で過ごせると言われています。



日本遺産に関する出前講座は、商工観光課(☎0854-40-1054)へお気軽に問い合わせください。

**市営・県営住宅の
入居者募集**

建設住宅課
☎0854401065

市営住宅空家入居者
【募集期間】
12月5日(月)から12月12日(月)17時締切

県営住宅空家入居者
【募集期間】
随時募集

【募集団地】
12月1日に雲南市ホームページおよび島根県住宅供給公社ホームページに掲載します。

【選考方法】
選考により入居者を決定します。

【申し込み】
島根県住宅供給公社(雲南住宅管理事務所)に備える申込用紙に所定の事項を記入し、必要な書類等(住民票・所得課税証明書等)を確認のうえ、直接提出してください。

◆島根県定住促進賃貸住宅(雲南管内)入居者

【選考方法】
先着順により入居者を決定します。

道路除雪のお願い

建設工務課
☎0854401062

道路の除雪にご協力を
お願ひします。

今年も雪が降る季節となりました。積雪状況により除雪作業を行います。除雪をスムーズに行うために、次の点についてご理解とご協力をお願いします。

- ・自動車の路上駐車および資材等の放置は絶対に行わないでください。(除雪作業の妨げになります!)
- ・除雪車通過後の出入口等の雪は、皆さんにご理解いただき排雪にご協力ください。

道の駅や除雪回転場への長期間の駐車はご遠慮ください。

**平成29年度自治医科大学
医学部入学者募集**

島根県医療対策課
☎0852225693

栃木県にある自治医科大学は、全都道府県が共同で設立した学校法人によって運営されている医科大学です。卒業後に出身県に戻り一定期間地域の病院や診療所に勤務すれば、授業料などが全額免除されるという特徴があります。

ふるさと島根の医療を守るという気概にあふれた方の申し込みをお待ちしています。

【募集人員】
123人(島根県から23人)

【問い合わせ先】
松江自動車道(無料区間)に
国土交通省三次河川国道事務所

【学力試験】
平成29年1月23日(月)

個人住民税（個人市民税・県民税）のコーナー 【問】 税務課 ☎0854-40-1034

市報うんなん 8月号では住民税（市民税・県民税）の概要についてお知らせしましたが、今月号では住民税の申告などについてよくある質問にお答えします。

Q 私の夫は平成28年4月に亡くなったのですが、夫の住民税は納めないといけませんか。

A 住民税は毎年1月1日現在、雲南市に住んでいる方に対して前年の所得に基づき課税されます。したがって、平成28年1月2日以降に亡くなった方に対しても平成28年度の住民税が課税され、相続される方が納税義務を引き継ぐことになります。なお、平成29年度からは住民税は課税されません。

Q 私は平成28年3月にA市から雲南市に引っ越しました。平成28年度の住民税は雲南市に納めるのですか。

A 住民税は毎年1月1日現在に住んでいる市町村で課税されることになっています。したがって、あなたの場合は平成28年1月1日現在A市にお住まいなので、平成28年度の住民税はA市に納めていただくことになります。

Q 年金収入が400万円以下であれば所得の申告が不要と聞いたのですが申告しなくてよいですか。

A 前年中の公的年金等の収入金額が400万円以下で、公的年金等以外の所得金額が20万円以下である場合には、「所得税の確定申告」の必要はありません。しかし、申告をすれば所得税の還付が発生するような場合は、確定申告をすることができます。また、住民税の計算に必要な医療費控除・扶養控除などの各種控除を受けようとする方は「住民税の申告」が必要です。

Q 私の昨年の収入はありませんが住民税の申告が必要ですか。

A 前年中に収入がない方の場合でも住民税の申告をお願いします。申告をしていただかないと各種手当ての受給や保育所の入所、国民年金保険料の免除、公営住宅の入居申請などに必要となる所得課税証明書が交付できなくなります。また、国民健康保険料や後期高齢者医療保険料などの算定にも影響があります。

Q 私が昨年中に支払った医療費の総額は8万円ですが10万円を超えないと医療費控除の対象になりませんか。

A 医療費控除は支払った医療費の金額が所得の5%相当額（その金額が10万円を超える場合は10万円）を超える場合に、その超える金額を所得金額から控除します。したがって、医療費が10万円に満たなくてもあなたの所得金額によっては医療費控除を受けられる場合があります。

$$\left(\begin{array}{l} \text{支払った} \\ \text{医療費の額} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金等で補} \\ \text{填される金額} \end{array} \right) - \begin{array}{l} \text{① 10万円} \\ \text{② 総所得金額等} \times 5\% \\ \text{※①と②のいずれか少ない金額} \end{array} = \text{医療費控除額}$$

Q かぜをひいたので薬局でかぜ薬を購入しましたが医療費控除の対象になりますか。

A 薬局で購入された医薬品も医療費控除の対象になります。

【よくある質問】

鳥取県中部地震により被災された方々を受け入れ支援します

平成28年鳥取県中部地震において、被害に遭われた皆様にご心からお見舞い申し上げます。雲南市では、被災された方々を市内に受け入れ、雲南市独自の生活支援金の支給、市営住宅への入居と家賃免除、児童・生徒および就学前児童の転入支援などを行うこととしました。市民の皆様のご親戚、知人の方で、被災地で不自由な思いをされている方がいらっしゃいましたら、支援の総合相談窓口である「うんなん暮らし推進課」へ相談ください。

【注意】 雲南市の支援制度につきましては、鳥取県中部地震により従来住んでいた住宅が全壊、半壊等の被害を受けたため居住できなくなり、被災地から避難を検討され、平成29年10月31日までに雲南市に転入または賃貸借住宅等へ入居された世帯（者）が対象です。支援制度の手続き（入居等を含む）が完了してから1年間を限度として各支援を受けることができます。
（※住宅が全壊、半壊等の被害とは、平成28年鳥取県中部地震により居住の自治体から罹災証明書または被災証明書が発行される被害をさします。）

総合相談窓口：うんなん暮らし推進課内「被災者受け入れ総合相談窓口」

〒699-1392 雲南市木次町里方521-1
☎0854-40-1014 / FAX 0854-40-1019

【面接試験】
24日（火）
【試験会場】
サンラポーむらくも（松江市）
【試験科目】
○数学（数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、数学A・B）
○理科（物理、化学、生物のうち2科目選択）
○外国語（コミュニケーション）
【出願期間】
平成29年1月4日（水）から18日（水）まで
【問い合わせ・出願先】
〒690-8501 松江市殿町1番地 島根県医療政策課 医師確保対策室
☎0852-225693
FAX 0852-226040
○英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、英語表
現Ⅰ・Ⅱ

新商品 特集

雲南市では、産業振興の一環として、市内における新商品開発の取り組みを「新商品開発および販路拡大事業補助金」によって支援しています。本補助金を活用して開発された新商品を、市民の皆さんへ広くお知らせするため、順次紹介していきます。

はちさんしょう
いずも八山椒(有)
山椒を使用した商品

商品紹介



山椒オリーブオイル



山椒茶 山椒ルイボス Tea

山椒の爽やかさと番茶の香ばしさをブレンドした「山椒茶」、山椒とルイボスをブレンドした癒しの健康茶「山椒ルイボス Tea」。両方ともティーバッグタイプで、暑い季節はアイ스티ーでも美味しくいただけます。

雲南市の自然豊かな風土で自家栽培し、緑の香り高い時期に収穫した山椒を使用したオリーブオイルで、山椒のピリッとした風味と香りを味わえる逸品です。料理の仕上げにひとふり入れるだけで素材の旨味を引き立て、口の中で山椒の香りと辛みが広がります。

- 価格** 山椒オリーブオイル（100ml）1,080円（税込）、山椒茶（3g×5p）540円（税込）、山椒ルイボス Tea（2g×5p）540円（税込）
- 販売** 直接販売（注文）、カフェ華羅（木次町東日登 240-4）、通信販売等
- 問合せ先** いずも八山椒有限公司 販売部 ☎0854-47-7235

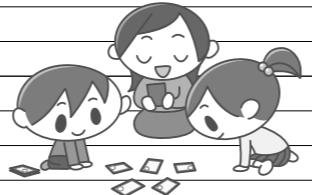
いずも八山椒有限公司

シリーズ 03

【問い合わせ】 産業推進課 ☎0854-40-1052

問い合わせ（局番 0854）

総合センター市民福祉課	平成29年度 保育所・認定こども園	
大 東 ☎43-8162	・大東保育園	☎ 43-6132
	・かもめ保育園	☎ 43-5028
	・あおぞら保育園	☎ 43-3129（私立）
	・あおぞら保育園（乳児分園）	☎ 43-3129（私立）
加 茂 ☎49-8612	・加茂こども園	☎ 49-6760
	・たちばら保育園	☎ 49-8122（私立）
木 次 ☎40-1083	・木次こども園	☎ 42-2341
	・斐伊保育所	☎ 42-1008
	・四ツ葉学園保育所	☎ 42-0616（私立）
三刀屋 ☎45-9501	・三刀屋保育所	☎ 45-2651
吉 田 ☎74-0215	・吉田保育所	☎ 74-0330
	・田井保育所	☎ 75-0201
掛 合 ☎62-0056	・掛合保育所	☎ 62-9900
子ども政策課 ☎40-1044	・大東こども園	☎ 43-2710
	・海潮こども園	☎ 43-2298
	・斐伊こども園	☎ 42-2130
	・三刀屋こども園	☎ 45-2168
	・市外の保育所、認定こども園	



保育所・認定こども園（保育所利用）

保育所・認定こども園（以下「保育所等」）での保育は、入所要件に基づき保育の必要性が認められた場合に行います。入所要件や保育所等の受け入れ対象年齢、保育時間など、詳しくは保育所等管轄の総合センター市民福祉課または子ども政策課へ問い合わせください。

初めて入所を希望される場合は、保育を必要とする認定申請の手続きも必要となります。認定区分は、次の3つに区分されます。

- ・1号：3歳以上児童幼稚園・認定こども園（幼稚園利用）
- ・2号：3歳以上児童保育所・認定こども園（保育所利用）
- ・3号：2歳未満児童保育所・認定こども園（保育所利用）

市外の保育所等への入所については、子ども政策課へ問い合わせください。



【保育を必要とする事由】

- ①就労 ②妊娠・出産 ③保護者の疾病・障がい ④親族の介護・看護 ⑤求職活動 ⑥就学など
 ※「就労」とは、おおむね週に3(4)日以上勤務で、1日の労働時間が4(3)時間以上（1ヵ月当たり48時間以上）であることをいいます。

【申込方法】

○新規入所

総合センター市民福祉課または子ども政策課に備え付けの「支給認定申請書兼入所申込書」と就労証明書等の必要書類を保育所等管轄の総合センター市民福祉課または子ども政策課へ提出してください。保育所等での入所受付・相談はできませんので、注意してください。

市ホームページまたは子育てポータルサイトから様式をダウンロードすることもできます。

平成29年度中に産後休暇・育児休業が終了し、ただちに職場復帰される方で年度途中から入所を希望される方も入所予約をすることができますので、お忘れのないように手続きをしてください。

○継続入所

現在入所中の児童で来年度も引き続き入所を希望される方は、保育所等を通じて入所申込書と必要書類をお渡ししますので、保育所等へ必要書類を添えて提出してください。

なお、保育を必要とする事由等に変更がある場合は、既に交付済の支給認定証が変更となりますので、支給認定の手続きも必要となります。

【受付期間】 12月1日(木)～12月22日(木) ※期限厳守でお願いします。

【保育料等】

保育料については、児童の属する世帯（保護者）の市民税所得割額で算定しますが、4月～8月までは前年度市民税で算定し、9月以降は当該年度市民税所得割額で再算定します。（参考：平成28年度保育料基準額については、0円～52,000円です）

なお、申請により年度を通じて全ての土曜日を休所される場合の保育料減免や第3子以降保育料無料については、これまでどおり実施します。

【現況届】

年度途中に入所等入所世帯に対し、「世帯の状況」や「保育を必要とする事由」等について確認するための「現況届」を提出していただきます（別途ご案内します）。

【マイナンバー】

新規入所の場合は、申込書に児童と保護者のマイナンバーの記載が必要となります。申請の際、本人確認のため運転免許証等を提示していただきます。

※幼稚園・認定こども園（幼稚園利用）についても同様です。

幼稚園・認定こども園（幼稚園利用）

【申込方法】

○新規入園

子ども政策課、総合センター市民福祉課および幼稚園等に備え付けの「支給認定申請書兼入園申込書」を子ども政策課または総合センター市民福祉課へ提出してください。

市ホームページまたは子育てポータルサイトから様式をダウンロードすることもできます。

※平成28年1月1日現在で雲南市に住民票がない方は、課税証明書の提出が必要となります。

○継続入園

継続入園に関する手続きはありません。

【利用申込対象】 次の該当期間に出生した幼児

- ・5歳児 平成23年4月2日～平成24年4月1日
- ・4歳児 平成24年4月2日～平成25年4月1日
- ・3歳児 平成25年4月2日～平成26年4月1日



【受付期間】 12月1日(木)～12月22日(木) ※期限厳守でお願いします。

【保育料等】

保育料については、児童の属する世帯（保護者）の市民税所得割額で算定しますが、4月～8月までは前年度市民税で算定し、9月以降は当該年度市民税所得割額で再算定します。（参考：平成28年度保育料基準額については、0円～5,200円です）

なお、第3子以降保育料無料については、これまでどおり実施しますので申請してください。

問い合わせ（局番 0854）

大東こども園	☎ 43-2710	加茂こども園	☎ 49-6761	西日登幼稚園	☎ 42-0875
西幼稚園	☎ 43-6005	木次こども園	☎ 42-2173	三刀屋こども園	☎ 45-2168
佐世幼稚園	☎ 43-2817	斐伊こども園	☎ 42-2130	鍋山幼稚園	☎ 45-3762
海潮こども園	☎ 43-2298	寺領幼稚園	☎ 42-0870		

※大東幼稚園は平成29年度から大東こども園に移行する予定です。

12月 子育て支援センターなどのスケジュール

大東 教室・相談			
大東子育て支援センター	手作り布おもちゃ教室(要予約)	6日(火)	9:30~11:30
	子育て教室(手作り楽器で演奏会(あおぞら保育園))	7日(水)	9:30~11:30
	子育て相談	9日(金)	10:00~17:00
	赤ちゃん教室(親子でふれあい遊び・離乳食試食(あおぞら保育園))	14日(水)	9:30~11:30
福祉センターおおぎ	子育て相談	22日(木)	9:30~11:00
子育てサロン			
木馬(おおぎ)	毎週火・木曜日	9:30~15:30	
よちよち(旧久野幼稚園)	3日(土)	9:30~11:30	
ほかほかひろば(幡屋交流センター)	5日(月)	9:30~11:30	
ぽっぽ(佐世交流センター)	8日(木)	9:30~11:30	
うしお(海潮交流センター)	9日(金)	9:30~11:30	
保育園開放日			
大東保育園	毎週水曜日	試食の予約:前日16:00まで	
かもめ保育園	毎週金曜日	試食の予約:前日16:00まで	
あおぞら保育園	毎日 試食は金曜のみ	試食の予約:当日9:00まで	
その他			
おおぎこサークル	「クリスマス会」(大東健康福祉センター)	20日(火)	9:30~11:30
問い合わせ先	大東保育園 ☎43-6132	かもめ保育園 ☎43-5028	
	あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500	地域福祉センターおおぎ ☎43-5610	

加茂 支援センター			
加茂子育て支援センター	お茶会	2日(金)	10:00~(1時間程度)
	たんぼひろば(ベビーマッサージ・タッチケア)	7日(水)	10:00~(1時間程度)
	たんぼひろば(かがみもちをつくろう!)	14日(水)	10:00~(1時間程度)
	※お誕生日の当日にお祝い会をします。12月生まれのお友だちにご予約ください。行事があっても通常利用ができますので利用ください。年末年始のお休みは12月30日~1月3日までです。		
教室・相談			
加茂子育て支援センター	もぐもぐ教室(5~6ヵ月児対象離乳食教室)	1日(水)	10:00~(※要予約)
	もぐもぐ教室(7~8ヵ月児対象離乳食教室)	8日(水)	10:00~(※要予約)
	もぐもぐ教室(9~11ヵ月児対象離乳食教室)	15日(水)	10:00~(※要予約)
	育児相談	19日(月)	9:30~11:30
	アレルギー対応食教室	22日(木)	10:00~(※要予約)
子育てサロン			
加茂交流センター	ぶちつくしっ子広場	3日(土)	10:00~11:30
	ぶちつくしっ子広場とたんぼひろば合同クリスマス会	21日(水)	10:00~11:30(※要予約)
保育園開放日			
たちばら保育園	月曜日~金曜日(平日)	10:00~(1時間程度)	
問い合わせ先	加茂子育て支援センター ☎49-8355		
	加茂交流センター ☎49-8380		
	たちばら保育園 ☎49-8122		

木次 支援センター			
木次子育て支援センター	ミュージックケア(年齢不問)	9日(金)	10:00~(※要予約)
	クリスマス誕生会(誕生児、一般参加者要予約)	15日(水)	10:00~
出前保育			
日登交流センター	育児相談	14日(水)	10:00~
教室・相談			
木次子育て支援センター	育児相談、妊婦サロン	16日(金)	9:30~11:00受付
	ベビーマッサージ(3~7ヵ月)	20日(火)	10:00~(※要予約)
	離乳食教室(9~11ヵ月)	21日(水)	10:30~(※要予約)
問い合わせ先	木次子育て支援センター ☎42-2030		

三刀屋 支援センター			
三刀屋子育て支援センター	育児相談	5日(月)	9:30~11:00受付
	クリスマス会	13日(火)	10:00~11:00(※要予約)
問い合わせ先	三刀屋子育て支援センター ☎45-9500		

吉田 保育所開放日			
吉田保育所	15日(水)	9:30~11:30	
田井保育所	7日(水)	9:30~11:30	
社協子育てサロン(あいあいクラブ)			
吉田健康福祉センター	クリスマス会	21日(水)	9:30~11:30
問い合わせ先	吉田保育所 ☎74-0330	田井保育所 ☎75-0201	
	雲南市社会福祉協議会吉田支所 ☎74-0078		

掛合 保育園開放日			
夢の子園	保育所開放日	14日(水)・21日(水)	9:00~11:00
	昼食試食会	21日(水)(要予約・要切4日)	11:00~12:00
支援センター(分室:掛合体育館)			
分室	お話の日	2日(金)	10:30~11:00
	Let's Try!! 「手作りいすを作ろう」	5日(月)・6日(火)	10:00~11:30
好老センター	子育て相談日	7日(水)	9:30~11:00
	クリスマス誕生会	15日(水)(要予約・要切8日)	9:30~11:30
問い合わせ先	かけや夢の子園 ☎62-9900		
	掛合子育て支援センター ☎080-2909-4713		

図書館だより

市立図書館の利用案内		
三刀屋図書館「うちの本箱」(永井隆記念館内)		
電話	0854-45-2239	
開館時間	9:00~17:00	
休館日	毎週月曜日、29日(木)、30日(金)、31日(土)	
おはなし会	3日(土) 10:00~ 13日(火) 15:30~ 三刀屋子育て支援センター 20日(火) 10:00~	
吉田図書館(吉田交流センター内)		
電話	0854-74-0219	
開館時間	9:00~17:00	
休館日	毎週日曜日、祝日	
掛合図書館センター「陽だまり館」(掛合交流センター内)		
電話	0854-62-0189	
開館時間	9:00~17:00	
休館日	毎週日・月曜日、祝日	

木次図書館 ☎0854-42-1021	
12月の休館日	
毎週月曜日、23日(金・祝日)、月末整理休館:28日(水)	
年末年始休館:29日(木)~1月3日(火)	
イベント案内	
☆おはなしレストラン	25日(日) 10:20~
☆よみかたりのじかん	毎週木曜日 14:30~(29日は除く)

大東図書館 ☎0854-43-6131	
12月の休館日	
毎週金曜日、振替休館日:24日(土)、月末整理休館:28日(水)	
年末年始休館:29日(木)~1月3日(火)	
イベント案内	
☆こぐまちゃんくらぶ	毎週月曜日 10:30~(26日は除く)
(わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)	

加茂図書館 ☎0854-49-8739	
12月の休館日	
毎週木曜日、23日(金・祝日)、月末整理休館:28日(水)	
年末年始休館:29日(木)~1月3日(火)	
イベント案内	
☆絵本のひろば	13日(火) 10:30~
乳幼児と保護者の方が気軽に図書館や本を楽しんでいただく時間です。今回はクリスマス会です。	
☆おはなしチュリップ たのしい絵本の会	クリスマススペシャル 17日(土) 14:00~

新着の本(抄)

▼赤川次郎「友の墓の上で」▼あさのあつこ「I love letter」▼伊東潤「江戸を造った男」▼岩井三四二「天下を計る」▼恩田陸「蜜蜂と遠雷」▼西條奈加「刑罰0号」▼葉室麟「孤蓬のひと」▼東野圭吾「危険なビーナス」▼北村薫「遠い唇」▼桐野夏生「猿の見る夢」▼岡野雄一「ペコロスのいつか母ちゃんにありがとう」▼酒井順子「朝からスキャンダル」▼若松英輔「生きていくうえで、かけがえのないこと」▼向田邦子「お茶をどうぞ 対談向田邦子と16人」▼石田衣良「小説家と過ごす日曜日」▼三土たつお「街角図鑑」▼加藤藤子「戦争まで」▼橋鈴「言ってはいけない」▼石井光太「『鬼畜』の家わが子を殺す親たち」▼荻原博子「隠れ貧困」▼竹川広三監修「腰痛・脊柱管狭窄症と坐骨神経痛を治すコツがわかる本」▼主婦と生活社「ちょうどいい数をすっきりしまおう。」▼西村宏子「クレーム対応の教科書」▼田中輝美「ローカル鉄道という希望」▼手塚治虫「まんが『ブッダ』に学ぶ穏やかな働き方」▼キャロル・ヴォーダマン他「親子で学ぶ音楽図鑑」▼西原理恵子「洗えば使える泥名言」


契約内容をよく確認 冠婚葬祭互助会の積み立て

事例 冠婚葬祭互助会に毎月3千円の80回払いで積み立てをしていた。満期になり、お金が必要な事情ができたので積み立てた24万円を解約しようとしたら、「解約手数料3万5千円を差し引いた金額しか戻らない」と言われた。契約書の控えは手元にあるが、字が小さくて読んでいない。訪問販売で契約したが、勧誘のとき解約手数料の説明は受けた覚えはない。

助言

- 冠婚葬祭互助会とは、一定の掛金を一定期間にわたって毎月支払い、貯まった金額を結婚式や葬儀の際のサービス費用の一部に充当して負担を軽くするための仕組みです。
- 預金と違い利息はつきません。また、サービスを利用せずに解約する場合には、解約手数料が差し引かれます。積立金額より少ない金額しか返金されないの注意が必要です。
- 契約する際は結婚式や葬儀のサービスを利用するかをよく見極めるとともに契約内容を正しく理解しましょう。

問い合わせ 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123



島根県消費生活センターマスコットキャラクターにまねないワウくん

私たち、男女共同参画サポーターです!

~雲南市で男女共同参画を推進している力強い仲間「島根県男女共同参画サポーター」。このコーナーでは、その活動を8人のサポーターが自ら紹介していきます。~

Part.5 「男女共同参画社会とは」 (文:加納佳子さん)



「男女共同参画社会」とは、家庭・地域・学校・職場等のすべての社会的場面において、性別に関わりなく、一人ひとりが大切にされる社会。そして、互いの能力や個性を認め合い、関わり支え合いながら、一人ひとりの主体性が発揮できる社会です。

私はさまざまな機会において、男女共同参画に関わる意見交換や意識啓発の行動、活動、研修に取り組んでいます。

その中で「男女共同参画って何?その意味がわからない」「(男女共同参画という)言葉が嫌」などの敬遠発言や、「男がもっと家事をせよということか」「男は男らしく、女は女らしくて何がいけない」などなど、「性別役割分担意識」「性別の固定概念」の厚い壁に阻まれる、といった課題が少なくありません。

男女の間のあらゆる社会的差別の概念を乗り越えて、男女平等社会を築けたとき、「男女共同参画社会」が実現できたと言えるのではないのでしょうか。

そのためには、私たちは男女差別意識という垣根を越え、誰もが性別に関わりなく人間として人権を尊重され、自分らしく輝けることの大切さを発信し続けていくことが求められています。そして、次世代へ一人ひとりの人権が尊重される社会づくりをバトンタッチし、真の「男女共同参画社会」が実現することを願っています。

広告枠

市では、新たな収入確保対策として、有料広告を掲載しています。掲載されている広告の内容などへの問い合わせは、直接広告主へお願いします。広告内容は市が推奨するものではありません。

12月の議会

【問】 議会事務局 ☎40-1004

◆雲南市議会12月定例会			
本会議（開会・所信表明・議案上程・説明・質疑）	9日(金)	9:30～	議 場
本会議（一般質問）	12日(月)～15日(木)	9:30～	
予算審査特別委員会	15日(木)	本会議終了後	全員協議会室
産業建設常任委員会	16日(金)	9:30～	
教育民生常任委員会	19日(月)	9:30～	
総務常任委員会	20日(火)	9:30～	
予算審査特別委員会	22日(木)	9:30～	
本会議（委員長報告・討論・採決・閉会）	26日(月)	13:30～	

※日程は変更する場合があります。



12月の健診・教室など

【問】 健康推進課 ☎40-1045

◆育児相談				
三刀屋子育て支援センター	5日(月)	9:30～		
掛合子育て支援センター	7日(水)			
木次子育て支援センター	16日(金)			
加茂子育て支援センター	19日(月)			
地域福祉センターおおぎ	22日(木)			
◆妊婦サロン				
木次子育て支援センター	16日(金)	10:00～		
◆離乳食教室				
加茂健康福祉センター	6日(火)	9:30～		

◆乳幼児健診				
乳児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	1日(木)	13:00～（4ヵ月児） 13:30～（10ヵ月児）
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	22日(木)	13:00～（4ヵ月児） 13:30～（10ヵ月児）
幼児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	8日(木)	13:00～（1歳6ヵ月児）
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	14日(水)	13:00～（3歳児）

◆断酒会		
吉田ふるさとセンター	1日(木)	19:00～21:00
加茂健康福祉センター	5日(月)	18:30～20:30
大東地域交流センター	13日(火)	19:00～21:00
下熊谷交流センター	19日(月)	
掛合まめなかセンター	21日(水)	

◆結核・肺がん検診		受付時間
三刀屋文化体育館アスパル	7日(水)	9:00～11:30 13:30～15:30
◆特定健康診査(要予約)		受付時間
木次経済文化会館 チェリヴァホール3階	3日(土)	9:00～10:30 13:00～14:00
	4日(日)	9:00～10:30 13:00～14:00
	5日(月)	9:00～10:30 13:00～14:00
◆休日がん検診(要予約) (乳がん、子宮頸がん)		受付時間
大東地域交流センター	4日(日)	9:00～11:30 13:30～15:30

◆その他相談			
認知症の人と家族の会サロン「色えんぴつ」	雲南保健所	1日(木)	10:00～15:00
【問】 地域包括支援センター	☎40-1043		
はじめての子育て講座「親子の絆教室」	下熊谷交流センター	7、14、21日(水)	14:00～16:00 (要予約) 定員10組
【問】 子ども家庭支援課	☎40-1067		
雲南サロン「陽だまり」		8日(木)	10:00～15:00
【問】 雲南保健所	☎42-9638		
こころのサロン「つくし」		8日(木)	10:00～15:00
【問】 雲南保健所	☎42-9642		
こころの健康&もの忘れ相談		14日(水)	13:00～15:00
【問】 雲南保健所	☎42-9642		
就業相談会(移動ナースバンク)	ハローワーク雲南	14日(水)	13:00～16:00
【問】 雲南公共職業安定所	☎42-0751		
ひとり親家庭法律相談	いきいきプラザしまね	14日(水)	13:30～15:30 (要予約)
【問】 一般財団法人島根県母子寡婦福祉連合会	☎0852-32-5920		
交通事故巡回相談	出雲市役所	15日(木)	9:00～15:00
【問】 交通事故相談所	☎0852-22-5102		
難病サロン「ひまわり」		16日(金)	13:00～15:00
【問】 雲南保健所	☎42-9638		
アルコールによる困りごと相談		19日(月)	13:00～15:00
【問】 雲南保健所	☎42-9642		

【問】 うんなん暮らし推進課 ☎40-1014

◆結婚を希望する独身男女のための結婚相談			
結婚相談サロン	雲南市役所 3F 相談室	7、14、21、28日(水)	10:00～15:00
	Aコープきすき店2F	24日(土)	10:00～13:00

※内容、場所、日時の順に記載。市外局番は記載のないものはいずれも0854です。

中高生の！幸雲南塾2016

と き 12月4日、11日、18日(日)
10:30～17:00

と ころ 雲南市役所本庁舎

対 象 中高生

参加料 無料

大学生スタッフと一緒に勉強の方法を学んだり、普段会えない友だちや多様な経験をもつ社会人と出会い、将来の可能性を広げる一歩をふみだそう。

【問】社会教育課キャリア教育推進室

☎0854-40-1073

第22回 フェニックスコンサート

音楽愛好家がラメールの大ホールで日頃の練習の成果を披露します！歌あり、ピアノあり、アンサンブルありの多彩なプログラムをお楽しみください。

と き 12月11日(日) 9:00～18:00 (予定)

と ころ 加茂文化ホールラメール (大ホール)

入場料 無料

【問】ラメール ☎0854-49-8500

東京大衆歌謡楽団

～昭和の名曲を唄う～

昭和の時代には夢があった。希望があった。それを今に伝えたい。埃まみれのダイヤモンドソング“流行歌”を昭和生まれの平成育ちが唄う昭和歌謡の祭典。

と き 12月11日(日) 13:00開場 13:30開演

と ころ 古代鉄歌謡館

入場料 前売2,000円、当日2,500円

【問】古代鉄歌謡館 ☎0854-43-6568



定例公開講座

と き 12月3日(土) 14:00～16:00

と ころ 新市交流センター (木次町新市3)

講 師 NPO法人紫の風代表 うえだ ちひろ 上田地優さん
フリーアナウンサー いしはら みわ 石原美和さん

多様な性を考える～からす天狗のいたずら～

【問】雲南市人権センター ☎0854-42-1767

第7回 雲南市総合芸術文化祭

雲南華謡祭～民謡と舞踊の祭典～

今年の文化祭は、「民謡」「舞踊」「工芸」をテーマに開催！舞台では二代目 うめわかちゅうたく 梅若朝啄さん・しんどう 進藤聖子さんと雲南の匠たちが共演します。

と き

<展示部門> 12月9日(金)～12月11日(日)
10:00～17:00 (最終日は16:30まで)

<舞台部門> 12月11日(日) 13:00開演

と ころ 木次経済文化会館チェリヴァホール

入場料

<展示部門> 無料

<舞台部門> 一般1,500円、高校生以下500円

(当日各500円増)

【問】雲南市文化協会事務局

(チェリヴァホール内) ☎0854-42-1155

チェリヴァシアター

「くまのアーネストおじさんとセレスティーヌ」

ベルギーの絵本作家ガブリエル・バンサンンの代表作シリーズを映画化！心温まる作品をご家族お揃いでお楽しみください。

と き 12月25日(日) ①10:00 ②14:00

と ころ 木次経済文化会館チェリヴァホール

(2階ホール)

入場料 ファミリー 1,500円 (会員様・前売限定)、
一般1,300円、会員1,000円、シニア (60歳以上)・小中高生・障がい者手帳保持者
500円 (当日各200円増) ※未就学児無料

【問】チェリヴァホール ☎0854-42-1155

●市報うんなん No.145 2016年12月発行

発行・編集／雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町里方521-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

✉ unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

人 口・・・40,057人 (-60人)

男 性・・・19,243人 (-22人)

女 性・・・20,814人 (-38人)

世帯数・・・13,907世帯 (-8世帯)

平成28年11月1日現在 (先月比)